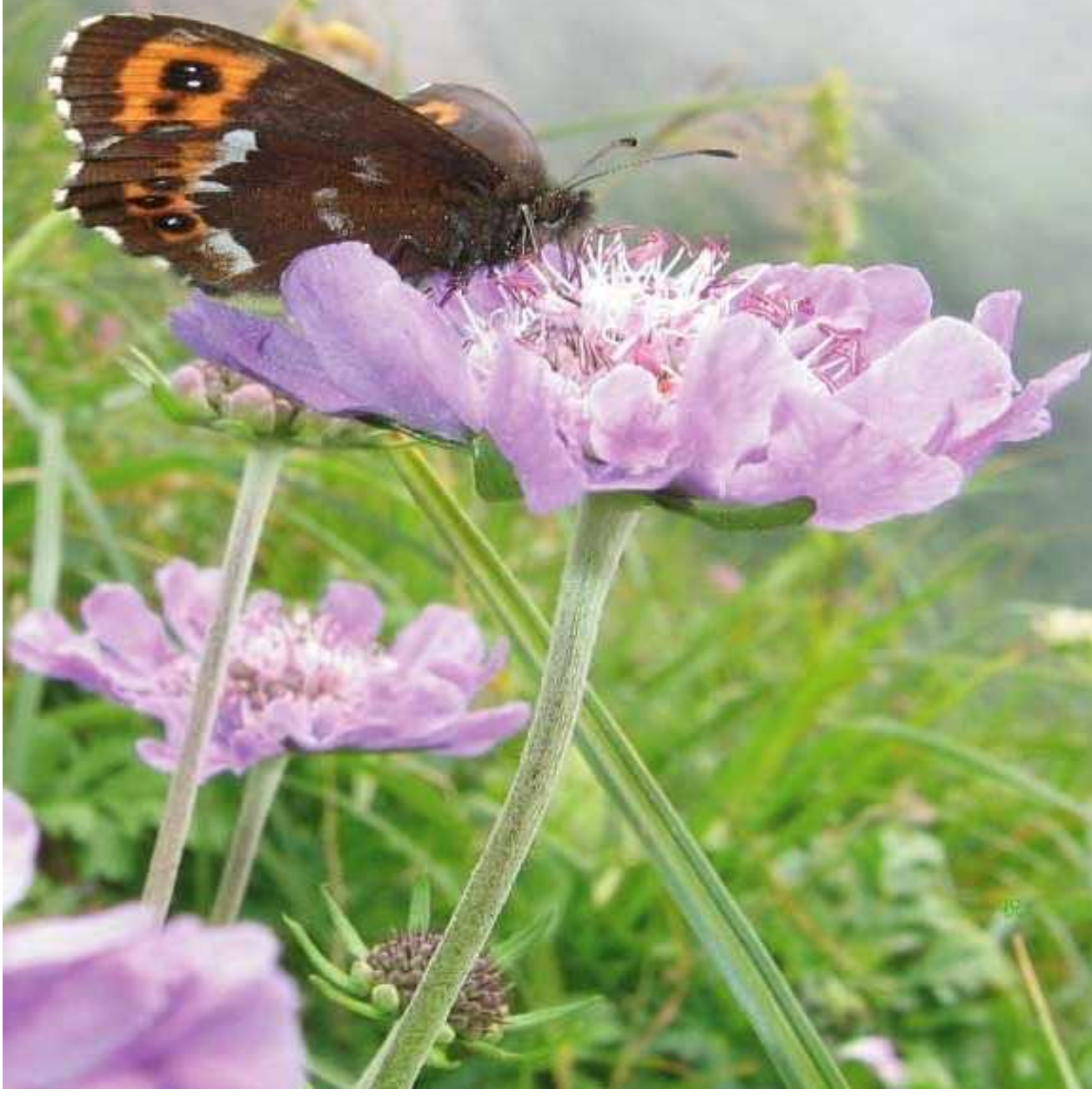


2009 October No.200
百万石蝶談会

翔

祝！H200H記念号



野田山辺りをウロチョロと

生 田 省 悟

『翔』200号、おめでとうございます。といいつつ、幽霊会員同然の私にこんなお祝いの言葉を口にする資格があるのかどうか、怪しいところです。もっとも、『翔』100号記念号が発刊されたちょうどその年の入会以来、先輩諸氏の情報を頼りにあれこれ楽しい思いを味わってきたというのが実感でもあります。憧れだった能登のクロコムラサキ、医王山のフジミドリシジミ（思い入れたっぷりの一種）はほんの一例でしょう。

ただ元来の出不精人間にとって一番なのは、住居の近くに野田山があること。四季折々にウロチョロしていると、それなりに馴染みの出会いがあったりします。ギフチョウに始まり、各種のアゲハやオオムラサキ。いつの年かは忘れましたが、秋にムラサキシジミを目撃したこともありましたっけ。なかでもギフチョウを散歩の距離で見られるのがうれしくて、私的初見記録を継続中。野田山だと小松方面の初見日から5日ほど遅れるようです。それにしても今年の発生は早く、初見が3月24日（実際はその数日前だったかもしれませんが、何せお彼岸、墓参りの人出が多いので遠慮申し上げざるをえなかったのは残念でした）。1998年の3月27日、2002年の3月26日を更新です。さて、来年はどうなるか。歴代加賀藩主らが眠る墓所の付近をウロチョロと、幽霊会員のささやかな野田山詣では当分止められそうにありません。県内のクロシジミ、ウスバサイシン喰いギフチョウなど、他にもやりたいことがあるのはやまやまなれど・・・

《いくた しょうご 〒921-8105 金沢市平和町3-22-10》

『翔』200号によせて

細 沼 宏

『翔』200号の発行、おめでとうございます。蝶談会との係わりは、工場立上げのため石川に赴任し、仕事の傍ら県内をうろついていた時、野田山で中西重雄さんの奥様とお会いし、会を紹介されたのが始まりでした。あれから22年が経ち、その間、先輩及び会員の方々に色々ご教授いただき、フジミドリを始め、ムモンアカ、ミヤマシジミなどをリストに加えることが出来たのも蝶談会のお陰と感謝しております。又、虫だけではなく多くの友人を得ることもできました。特に故中西氏には五島、対馬、福島、北海道などの旅行を通じて、会員のエピソード、氏の人生観などを教えていただきました。2年前の定年を機に、今までできなかった標本整理を始めました。なかなか作業は進まず、そんな時は網と高枝切りバサミを積んで医王山をドライブしています。これからも蝶談会が石川の虫情報の発信基地になるよう、微力ではありますが協力させていただきたいと考えています。

《ほそぬま ひろし 〒920-0276 内灘町緑台2-122》

翔200号に思う

松井正人

百万石蝶談会が発足したのは1978年。初会合は、嵯峨井淳郎氏の働きかけで6月5日に開かれた「蝶放談会」で、11人が出席したと記憶している。その後何回かの会合がもたれ、「百万石蝶談会」の名称など会の骨格が固まり、会誌「翔」の記念すべき第1号は、松本和馬氏の尽力により同年11月24日に発行された。嵯峨井淳郎氏は精力的に会を運営するとともに、「翔」7号から長期にわたり編集も手がけ、「翔」のスタイルはこの時に確立している。

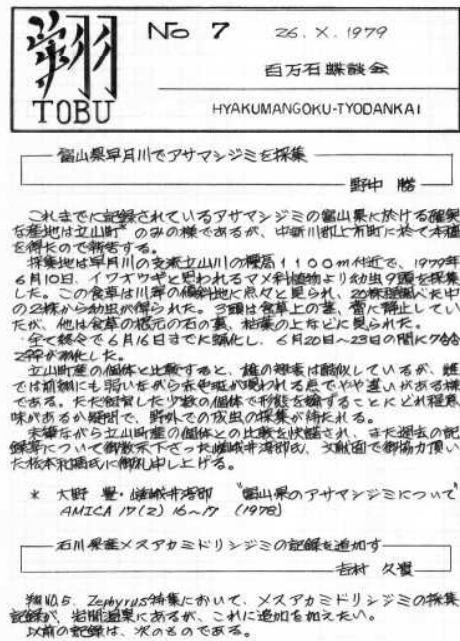
私は、寄稿等の形で協力していたが、前任の吉村久貴氏から編集を引き継ぎ、現在に至っているわけで、会誌の継続的発行が如何に難しいかを痛感している。それにしても、はや200号となり、ここまで続けてこられたのも、編集や寄稿等の形で協力いただいている会員諸氏のお陰と喜んでいる。わけでも、表紙の編集に携わっていただいている小幡英典氏には、何度お礼を述べても、お礼の言葉が尽きない。

これからも会員諸氏のご協力をいただきながら、昆虫学への一層の寄与を果たすべく、会誌の発行に努めていきたいと考えているので、重ねて会員諸氏に深謝し、今後のご協力をお願い申し上げます。

《まつい まさと 〒920-3121 金沢市大場町東871-15》



松本和馬氏編集の記念すべき第1号



嵯峨井淳郎氏が編集を始めた第7号

鮮烈な印象を残して消えたキゴ山ポイント

大 脇 淳



フが採りたい、と呪文のように唱えていた私に、医王山の素晴らしさを教えてくれたが、さらに医王山スポーツセンターのテニスコート向かいの「キゴ山ポイント」の存在も勿体ぶりながら教えてくれた。

1997年6月18日、車を持っていなかった私はママチャリで医王山へと向かった。朝6時過ぎにキゴ山ポイントに到着したが、そこは夢のような空間だった。ウスイロオナガシジミ、ミズイロオナガシジミ、アカシジミ、ウラナミアカシジミとともに、初めて見るウラミスジシジミが1m程度の下草にたくさん静止していたのである。ここは、ミズナラにコナラやカエデ類が混ざる落葉樹林と、スキー場として管理されてい

私は2008年春に、12年間過ごした金沢から新潟に引っ越してしまったが、鮮烈な印象を残してくれた金沢市のキゴ山ポイントについて少し書き留めておきたい。

大学に入学した1996年当時、採ったことのあるチョウは多くて60種程度だったと思うが、1年目はまず大学周辺でチョウ採集を始めた。オオヒカゲやオオウラギンスジヒョウモンなど、初めて採集して嬉しかったチョウもいたが、どうしても採りたいチョウは採れなかった。それは当時憧れの的であった「ゼフィルス」だった。幸運にも1年生の終わり頃、同じ大学の他学部チョウ好きのI田先生がいると知り、暇だった私は何度も先生を訪ねた。訪ねるたびに、ゼ





る草地が接する場所である。それ以来、繰り返しこの場所を訪れたが、ここで観察したゼフは10種を数える（上記5種の他に、ウラクロシジミ、ウラゴマダラシジミ、ジョウザンミドリシジミ、エゾミドリシジミ、オオミドリシジミ）。2002年にはここでジョウザンミドリのマーキング調査を行ったが、100数頭にマークを付けることが出来たほど、ゼフの個体数が多かった。

2002年以降しばらくここを訪れなかったが、2006年に久々に行ってみて驚いた。日本各地で猛威を振ったカシノナガキクイムシのせいで、ミズナラだけが全て枯れていたのである。早朝に行けば、下草にゼフがべたべたと付いていたのだが、1頭も見つからない。コナラは残っていたのだが……。ここに生息していたゼフのほとんどはミズナラに依存していて、ミズナラ枯死木の中に点々と存在するコナラでは個体群を維持できなかったのかもしれない。ただ、色々なゼフをたくさん見ることのできた楽園が、こんな無残な姿になってしまったことが残念でならない。



下草には色とりどりのゼフィルスが止まっていた夢のようなキゴ山ポイント(2002年撮影)

《おおわき あつし 〒949-8202 新潟県中魚沼郡津南町芦ヶ崎乙467-1 コーポ雅201》

また蝶を撮りはじめました

吉 村 久 貴

現役で大学に入学した年の秋に、百万石蝶談会が設立されて、メンバーの一人となりました。それから、あっという間に30年あまりが過ぎました。当時の私は、本格的に採集にのめり込み始めた頃で、諸先輩から情報を集めて、まだ出会ったことのない蝶を求めて、県内・県外をとびまわっていました。ゼフィルスに凝って、飼育をして標本を作ったりもしました。その後は、採集する種も徐々に絞られてきて、特定の蝶にこだわって、夏の暑い日に、御神木の下でネットをもって粘っていたこともありました。

しかし、就職をしてからは徐々に遠くに出かけることも少なくなりました。最近では、子どもを連れて、近場で、完品の普通種を採集したりしています。投稿することもなく、例会にも全く参加していません。親の介護のこともあったのですが、仕事を持ち帰ってやっているような状況で、徐々に目も衰えて、せっかく採集しても展翅をする気がおきず、冷凍された採集品がどんどん増えてしまいました。

本年から、高速道路の料金が安くなることもあって、久々に県外へ出かけてみることにしましたが、採集禁止の蝶は安心して採れないのが嫌だし、なにがなんでも採集しなければならぬような種もあまり無いので、普通種でもいいから、昆虫写真を撮ることにしました。そうすれば、未展翅の採集品が増えていくこともありません。上高地でも白骨でも、カメラだけ持って歩いているのなら怖いものはありません。

10年以上、ニコンの愛機に触っていませんでしたが、もともと、高校生のときから、ネガカラーやリバーサルで蝶の写真を多数撮っていました。以前は、200mm望遠レンズにクローズアップレンズをつけたり、105mmのレンズに中間リングを入れたりして撮影していましたが、衰えた目ではマニュアルでピントを合わせる自信がないので、新しくオートフォーカスのデジタル一眼レフを購入することにしました。迷わず、新製品のニコンD5000の交換レンズ2本セットに決めました。手持ちの古い交換レンズでは、マニュアル撮影しかできませんが、クローズアップレンズだけは使うことにしました。

7月4日に新しいカメラを手に入れ、翌7月5日から撮影を始めました。今でも、車から離れるときにネットも持って歩くこともありますが、ネットを持たないときの方が自然体なのか、思わぬ珍品が目の前に現れてくれるような気がします。また、被写体には完品で新鮮な個体にこだわって撮影をしました。1シーズンに何種類ぐらいの蝶が撮影できるのかも興味があって、できるだけ普通種にもカメラを向けるようにしました。

晴天の日に恵まれない7月初めからの約2ヶ月のあいだに8000kmを走りまわり、アゲハチョウ科では、アオスジアゲハ、クロアゲハなど6種類を撮ることができました。モンキアゲハには何度も会おうのですが、シャッターチャンスに恵まれず、ジャコウアゲハは何ヶ所かの既産地に出向きましたが、目撃すらできませんでした。シロチョウ科では、ツマグロキ

チョウの交尾シーン（県外）など6種類、ジャノメチョウ科では、白山のベニヒカゲなど7種類、セセリチョウ科では、キバネセセリ、ミヤマチャバネセセリ（いずれも県外）を含む10種類、シジミチョウ科では、得意のゼフには時期遅れでしたが、ムラサキシジミ、カラスシジミ、クロシジミ、ヒメシジミ、ミヤマシジミ、ゴマシジミ（いずれも県外）など12種類を撮影することができました。オオゴマシジミはヒキオコシで吸蜜してくれたのですが、うまく撮影することができませんでした。タテハチョウ科では、メスグロヒョウモン、オオミスジ、フタスジチョウ、クジャクチョウ、シータテハ、エルタテハ、キベリタテハ（いずれも県外）など20種類を撮影しました。ゴマダラチョウ、オオムラサキも止まってくれたのですが、撮影前に逃げられてしまいました。スミナガシは、既産地に何度も足を運びましたが、目撃すらできませんでした。これにテングチョウ、アサギマダラ、ウラギンシジミの3種を加えると、トータルで64種類の蝶を撮影することができたことになります。

甲虫類では、色鮮やかなアオカナブン、クロカナブンの交尾シーン、イタヤカミキリなどのほか、積極的に県内のハンミョウ類を撮影しました。県内に産する12種類のうち、ナミハンミョウ、イカリモンハンミョウ、ハラビロハンミョウ、カワラハンミョウ、ミヤマハンミョウ、コニワハンミョウ、コハンミョウ、エリザハンミョウの8種類は撮影できましたが、ホソハンミョウには出会うことができず、時期的なものなのか、ニワハンミョウ、アイヌハンミョウ、マガタマハンミョウにも出会えませんでした。

イチモンジセセリ、オオチャバネセセリ、チャバネセセリの♀のように、上翅の斑紋だけでは違いがよくわからない種も少なからずいます。撮影に際しては、写真だけからその蝶が同定できるように、蝶の特徴がわかるように写さなければなりません。また、吸蜜中の個体の場合、吸蜜植物も同定できるように写しこむように心がけています。今まで、採集する気がなくて、ほとんど目を向けなかった種も野外で瞬時に同定できるように、基本に立ち返って、普段から何度も図鑑を見てチェックポイントを確認しています。その結果、最近、激減しているといわれているオオチャバネセセリもまだまだ広い範囲で見られ、6月下旬に汚損個体が見られたのに、9月上旬に新鮮な個体が見られました。チャバネセセリもかなり広い範囲で普通に見ることができました。イチモンジセセリは8月半ば以降に個体数が多くなりますが、それ以前は、チャバネセセリの方が圧倒的に多いようでした。

オートフォーカスのデジタルカメラでは、同じシーンを何枚も撮影して、大型テレビに接続し、ピントのよく合っているものだけを残して、残りは消してしまうようにしています。36枚撮りのフィルムならば、百本分ぐらいの枚数を撮影しましたが、気にいったものだけをプリントすればすみます。デジタルカメラの時代になってから、10年近くカメラに触ることもなかったのですが、今後は手放せないものになってしまいました。

来シーズンは、春先のギフチョウ、ヒメギフチョウから始まり、憧れのクモマツマキチョウ、天候不順で今年は撮影をあきらめたミヤマモンキチョウやミヤマシロチョウ、アサマシジミ、オオイチモンジ、コヒオドシなども撮影してみたいと思っています。

《よしむら ひさき 〒920-0941 金沢市旭町1丁目21-30》

白山のライチョウとタカネヒカゲ

指 田 春 喜

2009年6月6日の全国紙（朝日、読売、日経など）、地方紙（北国、北陸中日）の各紙は、多くは一面において、白山で70年ぶり（一部の報道では、約65年としているものもある）にライチョウが確認できた記事を一齐に報じ、ネットでも配信された。この記事を目にしたときに、直ぐに「それなら、（白山に）タカネヒカゲもいるかも知れない」との思いが頭をよぎった。ライチョウについては、当方には十分な知識がないので、論ずるのを避けるが、ライチョウのこの新聞記事について、石川県自然保護課は「今回見つかった白山のライチョウは、越冬のため、（乗鞍など）標高の高い山々を飛び継いで白山まで移動したのかもしれない（原文通り）」と推定している。ライチョウは35kmぐらいを飛べるらしく、その可能性が高いのであろうが、これでは面白くない。これまで絶滅したとされていたが、実は人知れずどこかでそっと生き延びていた。とする方がロマンを感じるのは、当方だけではあるまい。もっとも、白山の標本については、剥製なども現存するであろうし、このライチョウと比較をすればこの個体群のものであるかは直ぐにわかるであろう。結論を急ぐこともあるまいか。それよりタカネヒカゲについてである。

第一、白山産のタカネヒカゲの標本は、2♂が現存し、当方もそれをこの目で確認している。所有者は、福井の下野谷豊一氏である。福井市内の百貨店で展示された時（昭和50年代前半と記憶する）に、多数のタカネヒカゲの産地をチェックしていたときに、偶然この白山産2♂を見つけ出した。そのラベルを確認し、触角がなかったこと、やけに白っぽい個体であったことと共に「へえ、白山にタカネヒカゲがいたかなあー」と不思議に思ったことを今でもはっきりと覚えている。

第二、この点については、西山保典氏が「TSUISO」(No. 479, 1986) に一筆書いている。標本は、当時の（藤島）高校生が採集（1956年8月2日採集）し、その高校の生物部コレクションとして眠っていたものを、その学校の卒業生である下野谷氏が貰い受けたらしい。詳細は同誌をご覧ください。

第三、八ヶ岳のタカネヒカゲの例がある。1960年くらいまでは、その棲息が確認されており、一定量の標本も残っていたが、その後目撃情報がなく、ついこの前までは絶滅視されていたが、僅かではあるが、生き残っていたことは、記憶に新しいところである。これらの経緯は、「ヤツタカネ物語（八津高嶺著、1998）」に詳しい。

第四、以前本会会員であった金子二久氏が、白山のタカネヒカゲを期待して、3度白山に足を運ばれ、その模様「そこには、ただ風の吹いているだけ」を本誌（No. 58, 1986）に報告している。

以上、この4点が直ぐに思い浮かんできた。これ以外にも「TSUISO」や本誌に、これまで何度か白山のタカネヒカゲの話題は登場してくる。いずれにしても、白山の標高(2702m)とライチョウ、タカネヒカゲの分布標高下限が気になる点であろう。ライチョウは、冬季には1500mぐらいまでなら下におりてくることも可能らしい。しかし、タカネヒカゲにはこれは無理だろうし、垂直分布の下限は2500mである。独立峰の白山には、その上の部分は、200mしかなく、“白山のタカネヒカゲ”はやや厳しいかも知れない。加えて、八ヶ岳にタカネヒカゲがいたのは、紛れもない事実であり、一時確認できない時期もあったが、結局は絶滅してはいなかった。ひとことで言えばそうであった。これに対して、白山のタカネヒカゲについては、そもそもその標本自体の信憑性に疑問符が付く上に、それ以外に標本がないことが決定的に弱い。目撃情報だけでは、どうしようもないし、棲息の証拠としてはゼロである。ライチョウに関しては、一般の人でも目撃して、その同定を誤ることはほとんど皆無であろうし、今回もそうであった。しかし、タカネヒカゲの場合はどうであろう。我々蝶屋でも、他の昆虫と見間違ふことはありそうであり、一般の人が飛行中の個体を同定できるわけではない。それより綺麗ではない蛾のような虫けらになんか無関心であろうか。

まあ百歩譲って、ライチョウの他からの飛來說を受け入れても、チョウ(タカネヒカゲ)では、北アルプスからの飛來を持ち出されることはないから、白山でタカネヒカゲが見つければ、これまでひっそりと生き延びてきたことは間違いない。いずれにしても、今回の“飛び跳ね野郎(どうも雌らしいが)”のライチョウでも、白山で今回、確認できたことは、白山にライチョウが棲息できる環境が戻ってきたことを示唆するものである。チョウチョの生命力は、高等動物のライチョウなどの比ではないだろうから、案外、白山でタカネヒカゲはしぶとく生き延びていたかも知れない。当方はこの夏(2009年)事情があり、白山に登ることはできなかったが、多くの登山者の中にどなたかタカネヒカゲを目撃したという人はいなかったであろうか!!

《 参考文献 》

- 金子二久(1986)そこには、ただ風の吹いているだけ。翔(58):2-4.
 西山保典(1986)白山のタカネヒカゲ。TSUISO(479):12.

《さしだ はるき 〒920-0931 金沢市兼六元町11-27》

石川県輪島市とその周辺での2008年の蝶の採集・観察記録から

日 吉 芳 朗

筆者が、近年、輪島市での蝶の最重要採集・観察ポイントとしていた中段町堂下の鳳至川河畔と、珠洲市との境界に位置する宝立山が、2008年は大規模な護岸工事や道路工事のため通行や入山が制限されたり、禁止された。そのため、その地の蝶の生活がひどく脅かされるとともに、筆者の活動も大きく制約されることになった。

また、2008年の気象状況も、蝶の生活に好ましかったとは言えないようにみえる。新潟地方気象台発表による石川県の概況は、1月の気温は平年並みであったものの降水量はかなり少なく、2月は雪の日が多かった。3～5月は気温がかなり高く、晴れた日が多かったため降水量は少なく、日照時間が長かった。6月は晴れた日が多かったが気温は低く、下旬の梅雨入り後も降水量は少なかった。7～8月は、ほぼ高温少雨で推移した。一方、9～10月は晴れた日が多く、高温、少雨、多照であった。こうした記録的な気象状況の異変が蝶の出現期を遅らせ、発生しても短期間で終息した原因ではないかと考えている。

■クロアゲハ

9月9日、10時00分、深見町一乗の林道上で、吸水中のクロアゲハ無尾型を目撃した。無尾型であることを確認のうえで採集しようとしたが、突然、飛び上がり逃がしてしまった。筆者は、2003年7月29日にも、まったく同じ地点で無尾型を採集している（日吉、2003）。

2008年9月9日 輪島市深見町一乗 1頭（無尾型）目撃 日吉芳朗

■ウスバシロチョウ

例年、5月中旬から下旬にかけて姿を現し、本年も5月中旬の後半に姿をみせた。しかし、その数は少なく、前年に多数みられた大沢町では目撃もできなかった。

2008年5月17日 輪島市別所谷町大久保 1♂採集 日吉南賀子

2008年5月17日 輪島市門前町西円山 5♂採集4頭目撃 日吉芳朗・日吉南賀子

2008年5月18日 輪島市滝又町 4♂採集1頭目撃 日吉芳朗

この両日以外に姿を見ることができず、滝又町に隣接する空熊町は、ここ数年とりわけ注意をはらっているが、2008年も見つけることができなかった。

■オオヒカゲ

本来、個体数が少なく、発生地も限定されておりその姿を見るのは容易でない。これまでのところ三蛇山のミズバショウ群生地、三井町与呂見坂田と門前町鬼屋のスゲの群落地で観察されたにすぎなかった。2008年は三蛇山でのみ目撃されたが、その期間は7月上旬

から8月下旬にかけてのかなり長いもので、とりわけ8月31日の時期の遅さと個体数の多さは注目される。

2008年7月9日	輪島市三蛇山	1♂採集	日吉芳朗
2008年7月30日	輪島市三蛇山	2♂採集	日吉芳朗
2008年8月1日	輪島市三蛇山	1♂採集1頭目撃	日吉芳朗
2008年8月13日	輪島市三蛇山	1♂採集	日吉芳朗
2008年8月31日	輪島市三蛇山	3♂採集5頭以上目撃	日吉芳朗

■オオミドリシジミとエゾミドリシジミ

ここ数年間、両種の重要ポイントと目していた鳳珠郡能登町北河内と深見町一乗の2地点が、本年は林道工事のため立ち入りが禁止されていた。たまたま6月27日、工事が中断されていたので同地点を訪れたところ、両種を採集・目撃することができた。これらは狭い地域の中で住み分けているようにみえた。

オオミドリシジミ

2008年6月27日	鳳珠郡能登町北河内	7♂採集1♂目撃	日吉芳朗
------------	-----------	----------	------

エゾミドリシジミ

2008年6月27日	輪島市深見町一乗	1♂採集5♂目撃	日吉芳朗
------------	----------	----------	------

■コムラサキ

昨年まで、鳳至川河畔のヤナギの周辺に少数ながら見ることができたものの、本年は護岸工事によるヤナギの伐採でその姿を消してしまった。かろうじて久手川町、三蛇山、鉢伏山で黒色型各1頭を採集したのみで、他に目撃することもなかった。

2008年8月11日	輪島市久手川町	1♂採集	日吉芳朗
2008年8月31日	輪島市三蛇山	1♂採集	日吉芳朗
2008年9月8日	輪島市鉢伏山	1♀採集	日吉芳朗

■ヒョウモン類

これまで輪島市で最も普通にみられたミドリヒョウモンがなぜか姿をみせず、9月に入りごく小数ながらあらわれた。一方、もう一つの普通種であるオオウラギンスジヒョウモンがたいへん目立ち、ウラギンヒョウモンとクモガタヒョウモンも目についたが、ウラギンスジヒョウモンとツマグロヒョウモンはほとんど見ることはできなかった。

ミドリヒョウモン

2008年9月8日	輪島市鉢伏山	3♂1♀採集	日吉芳朗
2008年9月10日	輪島市鉢伏山	2♂目撃	日吉芳朗
2008年9月14日	輪島市高洲山	2♂1♀目撃	日吉芳朗

ウラギンスジヒョウモン

2008年 8 月 3 日	輪島市鉢伏山	1♀採集	日吉南賀子
---------------	--------	------	-------

ツマグロヒョウモン

2008年 8 月 22 日	輪島市高洲山	1♂採集	日吉芳朗
----------------	--------	------	------

2008年 8 月 24 日	輪島市宝立山	2♂採集	日吉芳朗
----------------	--------	------	------

■その他

これまで個体数は多くないものの、確実に観察することができたコツバメとミヤマセセリを、2008年は1頭も見ることができなかった。一方、少ないと考えられていたテングチョウ、ホソバセセリ、アオバセセリ、キマダラセセリ、オナガアゲハ、ゴイシシジミ、トラフシジミを少数ながら採集できた。

オナガアゲハ

2008年 6 月 16 日	輪島市鉢伏山	1♂目撃	日吉芳朗
----------------	--------	------	------

ホソバセセリ

2008年 7 月 17 日	輪島市鉢伏山	1♂採集	日吉芳朗
----------------	--------	------	------

2008年 7 月 19 日	輪島市三井町与呂見坂田	1♂採集	日吉芳朗
----------------	-------------	------	------

2008年 7 月 27 日	輪島市鉢伏山	1♂採集	日吉芳朗
----------------	--------	------	------

2008年 8 月 3 日	輪島市鉢伏山	1♀採集	日吉芳朗
---------------	--------	------	------

アオバセセリ

2008年 8 月 9 日	輪島市鉢伏山	1♂採集	日吉芳朗
---------------	--------	------	------

キマダラセセリ

2008年 7 月 19 日	輪島市三井町与呂見坂田	1♂採集	日吉芳朗
----------------	-------------	------	------

2008年 7 月 21 日	輪島市鉢伏山	1♂採集1頭目撃	日吉芳朗
----------------	--------	----------	------

2008年 7 月 23 日	輪島市鉢伏山	1♂採集1頭目撃	日吉芳朗
----------------	--------	----------	------

ゴイシシジミ

2008年 8 月 3 日	輪島市鉢伏山	2♂5♀採集	日吉芳朗
---------------	--------	--------	------

トラフシジミ

2008年 8 月 22 日	輪島市鉢伏山	1♂採集	日吉芳朗
----------------	--------	------	------

テングチョウ

2008年 8 月 24 日	輪島市宝立山	1♂採集	日吉芳朗
----------------	--------	------	------

《参考文献》

日吉芳朗（2003）石川県輪島市で再びクロアゲハの無尾型を得る．月刊むし（394）：3.

《ひよし よしろう 〒928-0001 輪島市河井町1部64-1》

石川県宝達山で採集されたアサギマダラの左右雌雄型

松 井 正 人

2007年、宝達志水町の宝達山でアサギマダラのマーキング調査中に、左右雌雄型が採集されたので報告する。このアサギマダラは、堀 孝治氏によって9月29日に採集され、マーキング後に性別を調べて放蝶しようとしたが、オスかメスか判別がつかず、筆者の所に持ち込まれた。右半分がオス、左半分がメスの左右雌雄型であり、堀氏には放蝶をあきらめていただいて筆者がもらいうけた。

アサギマダラのオスとメスは、羽の大きさや形、模様が違い、鳥取県大山では1971年に、左がオスの雌雄型が採集され(村上、1998)、滋賀県琵琶湖バレイでは2004年に、翅だけではなく体も左半分がオスの完全左右雌雄型が採集されている(藤井、2004)。

宝達山で採集された個体は、右の複眼が左の複眼より大きく右がオス、左がメスと思われるが、腹部は一樣にメスの模様であり、完全左右雌雄型ではない。しかし、アサギマダラに限らず左右雌雄型は、左がオスであることが多く、今回の右がオスの左右雌雄型は珍しい。

《 参考文献 》

藤井 恒(2004)アサギマダラの雌雄型. We Love!アサギマダラ情報(247):7.

猪又敏夫(1973)蝶の雌雄による複眼の相違をもとにした♂♀区別. 月刊むし(30):47-48.

村上 豊(1998)アサギマダラのギナンドロモルフ. We Love!アサギマダラ情報(200):6.

《まつい まさと 〒920-3121 金沢市大場町東871-15》



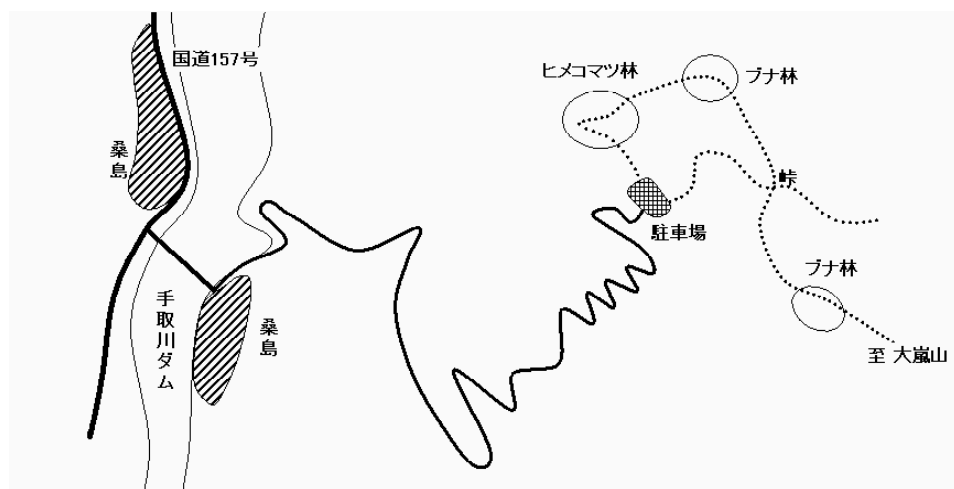
2007年9月29日 石川県宝達志水町宝達山 堀 孝治 採集



大嵐山での採集記録報告

井 村 正 行

ミズバショウの群生地で知られている白山市大嵐山は、標高1000m近くにヒメコマツの林があり、針葉樹のカミキリを期待して採集に訪れた。尾根添いには、ブナ林もあり、標高800m付近まで車で上れ、広い駐車場や遊歩道が整備されており気軽に行ける採集地である。



白山市（旧白峰村）大嵐山 2008年7月31日 井村正行

■オオクロカミキリ *Megasemum quadricostulatum* Kraatz 2 ♀

ヒメコマツの生木の枯死部と立ち枯れ木で採集

■オオヨスジハナカミキリ *Macroleptura regalis* (Bates) 1 ♂ 1 ♀

リョウブの花で採集

■ゴイシモモフトカミキリ *Callapoecus guttatus* Bates 8 ♂ 4 ♀

ヤシャブシの立ち枯れ木で採種

上記の3種は白山麓では、記録の少ない種と思われる。

他、ヨスジハナ、ヒゲジロハナ、ニンフホソハナ、ヒメクロトラ、ウスイロトラ、ニイジマトラ、ヒゲナガゴマフ、ニセゴマダラモモフト、エゾサビ、ホソヒゲケブカ、キッコウモンケシ、マヤサンコブヤハズ、ヒメヒゲナガ等のカミキリムシとオオトラフハナムグリ、フジミドリシジミが採集できた。

環境的に見れば、ヒメコマツの風倒木なども見られたので、夜間の採集で、ヒゲナガ、ナカバヤシモモフト、時期を違えればクビアカハナや本県で1例の記録しかないキモンハナ、等のカミキリムシが期待できそうである。

《いむら まさゆき 〒920-0211 金沢市湊1丁目128》

ハルゼミの発生初期に於ける羽化殻の記録

浅 地 哲 也

2007年に引き続き、金沢市卯辰山でハルゼミの羽化殻を採集し性比を調べたので報告する。

2007年は、ハルゼミの羽化は5月から始まると判断し4月29日から調査を開始したが、既にオスメス両方の羽化殻が観察され、目的だった発生初期の時期と性比はわからなかった。

2008年は、4月12日から調査を始め、4月16日に2オスの羽化殻を採集し、4月22日に1メスの羽化殻を採集した。

羽化殻のある位置の高さは、地上スレスレから地上10m程の間で、今回の調査の中では発生時期との関係はなかった。また、調査は夜11時頃がベストで、明るくなると鳥に捕食されるためか、朝5時には羽化殻だけになっているものが多かった。

今回の調査では、羽化が天候や温度によって影響されているように思われたので、2009年の課題とし、引き続き観察を続けたい。

《参考文献》

浅地哲也（2007）ハルゼミの羽化殻の記録．翔(187):3.

《あさじ てつや 〒921-8021 金沢市御影町26-7》

表-1. ハルゼミの羽化殻数(2008年)

観察日	オス	メス	オスの%
4月12日	0	0	
4月13日	0	0	
4月14日	0	0	
4月15日	0	0	
4月16日	2	0	100
4月17日	7	0	100
4月18日	0	0	
4月19日	1	0	100
4月20日	5	0	100
4月21日	4	0	100
4月22日	6	1	86
4月23日	3	0	100
4月24日	6	2	75
4月25日	3	1	75
4月26日	0	1	0
4月27日	5	0	100
4月28日	3	1	75
4月29日	4	0	100
4月30日	38	13	75

我が家の庭で観察したチョウ

松 井 正 人

ムラサキツバメ用にと植栽したマテバジイは、未だに期待はずれに終わっているが、ほったらかしの我が家の庭には、少なからずチョウが訪れる。たまに訪れるツマグロヒョウモンの雌には、いつもドッキリさせられ、淡い期待を抱きつつ静止するのを待ってカバマダラで無いことを確認している。近年は、チガヤがはびこり、チャバネセセリが発生している。

■金沢市大場町（標高約1m） 観察者：松井正人

2009年5月5日 アゲハ 1頭 2009年9月6日 ツマグロヒョウモン 1♀

2009年8月9日 チャバネセセリ 終齢1幼 2009年9月19日 ツマグロヒョウモン 終齢2幼

《まつい まさと 〒920-3121 金沢市大場町東871-15》

「翔」総目次(1号～199号)

号-頁	著 者	報文タイトル
1978年		
1-01	吉村久貴	1978年医王山における蝶の標本リスト
1-02	松井正人	溪谷の蝶
1-04	松本和馬	イチモンジチョウの一食草
1-04	松井正人	加賀市保賀町7月の蝶
1-05	松本和馬	山中温泉の蝶
1-06	松本和馬	駒帰付近の蝶の記録若干
2-01	井村正行	フジミドリの採集記
2-02	松井正人	犀奥の蝶
2-03	吉村久貴	僕とゼフ(その1)ゼフとの出会い
2-04	吉村久貴	犀川上流のクロシジミ
2-05	松井正人	1974年度沖縄採集旅行採集蝶一覧
2-07	松井正人	クロコムラサキ失敗記
2-08	松本和馬	白山尾添川付近の昆虫2種
1979年		
3-01	野中 勝	橋場氏の木登り行動(クロコムラサキ採幼記)
3-02	井村正行・他3名	ヒサマツミドリシジミ探索記
3-03	井村正行	キシマミドリシジミの採卵について
3-03	松井正人	金沢のキマダラヒカゲ
3-04	松井正人	1974年度沖縄採集旅行採集蝶一覧(その2)
3-05	松本和馬	ウラキシジミとウラゴマダラシジミの採卵記録
3-07	松本和馬	オナガシジミの採卵記録
3-07	井村正行	ヒロオビミドリシジミの採卵
4-01	碓井 徹	白山でのコヒオドシの記録について
4-02	碓井 徹	うわさの <i>Oeneis hakusanensis</i> の目撃例2題
4-03	嵯峨井淳郎	ギフチョウの吸水行動について
4-03	嵯峨井淳郎	宝達山と周辺の蝶類について
4-05	井村正行	富山県神通川のヒサマツミドリシジミについて
4-06	ヨシマダラセリ	その1・誘引色
4-06	吉村久貴	金沢市近郊にスギタニルシジミ産す
4-07	松井正人・松本和馬	加賀市橋立10月の蝶
4-08	松井正人	1974年度沖縄採集旅行採集蝶一覧(その3)
4-09	野中 勝	メスアカミドリシジミ飼育記
5	吉村久貴	特集<そよかぜの精Zephyrus>
6-01	嵯峨井淳郎	金沢周辺のウラナミアカシジミ
6-02	松井正人	ネットを張ったギフチョウ
6-02	吉村久貴	倉ヶ岳でミスジチョウを採集
6-03	野中 勝	スキー場に於けるゼフィルス採卵
6-05	吉村久貴	クロコムラサキ採集記

号-頁	著 者	報文タイトル
6-05	吉村久貴	中宮のアサマシジミ
6-06	吉村久貴	<i>Papilio</i> 2種の採集記録
6-07	嵯峨井淳郎	ミドリシジミ♀の性斑
6-07	嵯峨井淳郎	ミドリシジミ羽化前の鳴音発生について
6-07	嵯峨井淳郎	金沢市四坊高坂町におけるオムラサキの行方
6-08	松井正人	1974年度沖縄採集旅行採集蝶一覧(その4)
6-09	井村正行	ミスジチョウ、ウスバシロチョウ、ウラゴマダラの産地確認追加
6-09	井村正行	北海道のリンゴシジミとオオイチモンジ
7-01	吉村久貴	石川県産メスアカミドリシジミの記録を追加す
7-01	野中 勝	富山県早月川でアサマシジミを採集
7-02	吉村久貴	白山釈迦道、湯ノ谷の蝶
7-03	松井正人	飼育記録
7-06	嵯峨井淳郎	南国、鹿児島にて
8-01	野中 勝	クロコムラサキ飼育記
8-01	吉村久貴	奥能登の蝶
8-02	野中 勝	ウラキシジミの県内分布地追加
8-03	松井正人	1974年度沖縄採集旅行採集蝶一覧(その5)
8-04	嵯峨井淳郎	ウラナミアカシジミ補遺
8-05	金平永二	Self introduction
9-01	松井正人	7月8月祖母谷の蝶
9-02	松井正人	黒荻谷でカンアオイを見つけた
9-03	吉村久貴	菱広峠のアイノミドリシジミ
9-04	吉村久貴	タカネヒカゲ目撃記 <白馬岳から唐松岳へ>
9-04	諸道秀人	連載シリーズ<採集と飼育1>
9-05	諸道秀人	連載シリーズ<食草コーナー1>
9-06	諸道秀人	9月10日、白山で災難にあった虫達
9-07	吉村久貴	アサマシジミ採集記追憶
9-09	金平永二	採集メモより(その2)
1980年		
10-01	諸道秀人	甲虫屋のマスターすべきプロレスの必殺わざ
10-02	諸道秀人	連載シリーズ<採集と飼育2>
10-03	金平永二	採集メモより(その3)
10-04	松井正人	1974年度沖縄採集旅行採集蝶一覧(その6)
10-07	松井正人	石川県産 <i>Neptis</i> 2種の記録
10-07	松井正人	白山のゴマジミ
10-10	諸道秀人	獅子吼高原採卵記
11-01	諸道秀人	金沢市のアゲハチョウ科

号-頁	著 者	報文タイトル
11-07	諸道秀人	<i>Papilio</i> 属の食草
12	嵯峨井淳郎	特集<石川・富山・福井の蝶>
13-01	編集部	石川県の蝶に関する諸問題
13-04	嵯峨井淳郎	石川県産ウスバシロチョウの記録
13-07	諸道秀人	昆虫日記
13-07	諸道秀人	妙高高原採卵記
14	諸道秀人	特集<石川県のタテハチョウ科>
15-01	諸道秀人	環境保全に対する施工法の選定の ための基礎的研究
15-06	吉村久貴	石川県最南端のギフチョウ採集データ
15-07	井村正行・野中 勝	ギフチョウの目撃記録集
15-07	吉村久貴	順尾山林道でギフチョウを採集
15-07	松井正人	中宮温泉でウスバサイシンを発見
15-08	諸道秀人	1980・4月の行動記録
15-08	吉村久貴	金沢市近郊のスギタニルリシジミ
15-09	ヨシマミダラセリ	誘引(その2)
16-01	吉村久貴	鶴来町八幡町のウスバシロチョウ
16-02	野中 勝	雑録3題
16-02	吉村久貴	板尾谷でアサギマダラを採集
16-03	松井正人	クロシジミ探索記
16-04	吉村久貴	医王山山塊のミヤマカラスアゲハ
16-06	吉村久貴	<i>Zephyrus</i> の活動時間の違いについて
16-06	松井正人	黒薙谷カミキリ採集記
16-06	諸道秀人	蝶の飼育
17-01	松井正人	白山地方におけるギフチョウの産地
17-02	吉村久貴	ウスバシロチョウの追加産地2題
17-03	吉村久貴	河内村板尾谷採集記
17-04	吉村久貴	セセリチョウの採集データ2例
17-04	松井正人	ホシチャバネセセリは2化
17-05	松井正人	ヘリグロチャバネセセリを採集
17-05	諸道秀人	尾添川三ツ又発電所のホシミスジ
17-06	松井正人	タカネヒカゲ目撃記録
17-06	吉村久貴	白山周辺のホシミスジ
18-01	松井正人	イワオウギを食すハクサンシジミ
18-01	諸道秀人	金沢市小原でオオミスジ幼虫を確認
18-02	吉村久貴	1980年度・医王山の <i>Chrysozephyrus</i> 2種
18-02	松田俊郎	大山の蝶
18-03	諸道秀人	最近の行動より
18-03	松井正人	富山県産ヒメシジミ食草あれこれ
18-04	諸道秀人	シロオビアゲハの追捕
18-04	嵯峨井淳郎	我家の食草園について
18-05	吉村久貴	長野県遠征記
18-07	野中 勝	カトカラ狂い
18-08	ヨシマミダラセリ	ノグソシスト横行す
18-08	ヨシマミダラスズメ	誘引燈
19-01	嵯峨井淳郎・諸道秀人	オオヒカゲ幼虫探索記
19-03	松井正人	能登でオオヒカゲ幼虫を採集

号-頁	著 者	報文タイトル
19-04	松井正人・嵯峨井淳郎	口能登～中能登にか けてのオオヒカゲ調査
19-07	松井正人	オオヒカゲ飼育結果
19-08	嵯峨井淳郎	スゲよりオオヒカゲ幼虫を採集す
19-08	嵯峨井淳郎	石川県産オオヒカゲに関する文 献一覧
19-10	ヨシマミダラセリ	能登オオヒカゲ採集記
20-01	野中 勝	石川県に於けるゼフィルスの食樹 の記録
20-03	松井正人	ゼフィルス採卵記録より
20-04	野中 勝	再び医王山のメスアカミドリシジミに ついて
20-05	吉岡 泉	広島県内のナガサキアゲハ・他
20-05	松井正人	白山小桜平にベニヒカゲはいるのか
20-06	松井正人	ギフチョウ飼育記録例
20-07	諸道秀人	ゼフィルス採卵メモより
1981年		
21-01	松井正人	タイツリオウギはハクサンシジミの 食草か
21-01	野中 勝	石川県におけるゼフィルスの食樹 の記録(その2)
21-02	松井正人	ハクサンシジミ雌はドクウツギがお好き
21-02	松井正人	モンキチョウはイワオウギを食べるか
21-02	吉村久貴	白山に於けるアサギマダラの最盛 期について
21-04	松井正人	大多和産ギフチョウ飼育記録
21-04	野中 勝	白山蛇谷にてスギタニルリシジミを採集
21-06	松田俊郎	医王山のメスアカミドリ
22	松井正人	特集<セセリチョウ科>
23-01	天野勝広	特別寄稿<輪島のウスバシロチョウ>
23-02	金子二久	三小牛にイエローバンド産す
23-02	松田俊郎	鳥越城址のオオムラサキ
23-03	松井正人	1981年・雨飾山アサマシジミ
23-03	金平永二	採集メモ<蛇谷のツマジロウラジャノメ>
23-04	嵯峨井淳郎	1981年・ギフチョウの採集記録
23-04	嵯峨井淳郎	1981年5月・ウスバシロチョウ 採集例
23-05	野中 勝	ゼフむだ話(1)涙のフジミドリ卵
23-06	嵯峨井淳郎	関野鼻付近・中秋の蝶
23-06	嵯峨井淳郎	宝達山にてツマグロヒョウモン雌 を目撃
24	蝶談会	特集<アサマシジミ>
1982年		
25-01	松井正人・嵯峨井淳郎	邑知湯地溝帯・南部に おけるオオヒカゲの分布
25-02	松井正人	富山県称名谷の記録若干
25-03	金平永二	軟化展翅についてちょっと

号-頁	著 者	報文タイトル
25-04	松田俊郎・嵯峨井淳郎	富山・岐阜県境宮川にてヒサマツミドリを採集
25-05	松田俊郎	ギフチョウの採集記録例
25-05	嵯峨井淳郎	石川県産オオヒカゲ追加産地
25-06	野中 勝	ポプラよりコムラサキの幼虫を採集
25-06	井沢國雄	今は昔の物語<武蔵野慕情>
25-07	野中 勝	ゼフむだ話(2)採卵難易度
26-01	松井正人	1981年アサマシジミ調査記録
26-04	松井正人	尾添川水系アサマシジミ調査マップ
26-06	野中 勝	カトカラ狂い: Part2
26-06	金子二久	思い出ばなし: その1(ツルギシジミ)
26-07	松井正人	白山釈迦道に於ける燈火採集の記録
27-01	野中 勝	ゼフィルスの新産地
27-01	野中 勝	白山釈迦岳でミヤマカラスシジミの卵殻を発見
27-02	野中 勝・嵯峨井淳郎	石川県産オナガシジミの採卵記録例
27-02	嵯峨井淳郎	大日川ダムにてオナガシジミを採卵
27-03	松井正人	墮ちたオナガシジミ
27-04	松田俊郎	石川県産ウラゴマダラシジミ採卵記録例
27-05	嵯峨井淳郎	ウラゴマダラシジミの採卵例
27-05	野中 勝・他	左礫・杖川・大日ダム周辺におけるゼフィルス採卵調査
27-05	野中 勝	石川県産メスアカミドリシジミ追加産地
27-06	松井正人	高倉山採卵行
27-07	野中 勝	ゼフむだ話(3)ミドリシジミ類の遺伝とハツ当たり
27-08	チョウキチホレ	柳の下にどじょうはいない
27-09	チョウキチホレ	ヒサマツミドリ3桁採集した人の実談
28-01	松井正人	知っていますか? <作業道湯涌荒屋線>
28-01	吉村久貴	津幡町大坪地内にてオオヒカゲを目撃す
28-01	吉村久貴	門前産クロコムラサキに憂慮を感じず
28-02	金子二久	ドロだらけのサドマイマイ
28-02	諸道秀人	私のアルバムより
28-05	吉村久貴	南アルプス山麓でオオムラサキの群飛
28-06	岩下泰子	ヒロコのYODAN<ムシヤの夫>
28-06	岩下泰子	初めての採卵体験
28-07	嵯峨井淳郎	採集地案内・1 <平湯温泉のオオゴマシジミ>
29-01	蝶談会	石川県産ゼフィルス17種の分布について
29-04	吉村久貴	医王山山塊でのギフチョウ採集例
29-04	岩下泰子	可愛いむすめ(むすこ?)たち
29-05	吉村久貴	金沢市駒堀のギフチョウ
29-06	諸道秀人	1981年の採写真より
29-06	吉岡 泉	広島県加計町のウスバシロチョウ
29-07	諸道秀人	ゼフィルスの採卵

号-頁	著 者	報文タイトル
29-08	金子二久	標本乾燥法についてチョット
30	嵯峨井淳郎	特集<会員の動き・しゃぼの動き>
31-01	松井正人・野中 勝	片貝川南又谷にてアサマシジミを確認
31-02	野中 勝	墮ちたオオミドリ
31-03	岩下泰子	汗まみれ、泥まみれのカンアオイ採集
31-03	吉村久貴	群馬県角間山でアサマモンキチョウを確認
31-04	竹谷宏二	憧れのフッドレア
31-05	松田俊郎	フジミドリ採集記
31-07	岩下泰子	ウスバシロチョウ採集記
31-08	吉村久貴	1981年度採集手記より(その1)松本市近郊にて
32-01	嵯峨井淳郎・他3名	能登半島門前におけるウスバシロチョウの採集例
32-02	吉村久貴	金沢市医王山産メスアカミドリシジミ雌の赤斑異常例
32-03	松井正人	石川県産オオヒカゲの新産地
32-04	嵯峨井淳郎	門前町の雑蝶若干
32-04	吉村久貴	門前町西円山にてオオヒカゲ幼虫を確認
32-05	吉村久貴	1981年度採集手記より(その2)入笠山ヒメギフ採集記
32-05	嵯峨井淳郎	金沢市熊走にて白化異常型ウスバシロチョウを採集
32-06	吉村久貴	1981年度採集手記より(その3)白馬村切久保
32-08	吉村久貴	1981年度採集手記より(その4)松本市美鈴湖採集記
33-01	松井正人	キバネセセリ幼虫採集法
33-02	吉村久貴	立山川でイワウギより得られたヒメシジミ幼虫の一考察
33-03	吉村久貴	兵馬平(へいまのだいら)でアサマシジミを確認
33-04	吉村久貴	白高地沢産アサマシジミの斑紋異常例
33-06	野中 勝	1982年ゼフィルス採卵の記録
33-06	吉村久貴	メスアカミドリシジミ幼虫のクヌギでの一飼育例
33-07	松田俊郎	フジミドリ雌成虫よりの採卵例
33-08	嵯峨井淳郎	医王山にてツマジロウラジャノメを採集
33-08	吉村久貴	七尾市徳田でみられたシジミチョウ科2種の記録
33-09	吉村久貴	1982年度採集手記より(その1)河内村板尾谷採集記
34-01	野中 勝	石川県にてアサマキシタバを採集

号-頁	著 者	報文タイトル
34-01	嵯峨井淳郎・野中 勝	白山山麓にてナマリキ シタバを採集す
34-02	吉村久貴	松本市三城でミヤマシロチョウを再確認
34-02	吉村久貴	富山県におけるコヒオシの採集記録 ・目撃記録について
34-03	松井正人	からぶり3題
34-04	松井正人	シロウトのゼフ幼虫採集記
34-06	吉村久貴	燕岳から蝶ヶ岳へくタカネヒカゲ目撃>
34-07	吉村久貴	1982年度採集手記より(その2)小谷 村ヒメギフ採集記
34-08	吉村久貴	1982年度採集手記より(その3)門前 町猿山灯台採集記
1983年		
35-01	野中 勝	金沢市菊水でミヤマカラスシジミを採卵
35-01	吉村久貴	富山県常願寺川岸のミヤマシジミの 第1化の早い記録
35-02	中西重雄	医王山にてヒメキマダラヒカゲを採集
35-03	吉岡 泉	広島県のウスバシロチョウ Part2
35-04	吉村久貴	白山でベニヒカゲの乱舞を目撃
35-05	岩下泰子	ヒロコのYODAN Part2 <蝶のネクタイ>
35-05	吉村久貴	能登地方における普通種・数種の記録
35-06	岩下泰子	順尾山ハッピー採卵記
35-07	松井正人	ウラジロガシを求めて小矢部川
35-08	吉村久貴	シリーズ案内&書評第1回 <信州の昆虫>
36-01	吉村久貴	白山湯ノ谷、釈迦岳登山道にて フジミドリシジミ卵を採卵
36-02	松井正人	宝達山採卵行
36-03	野中 勝	ゼフ採卵記
36-05	吉岡 泉	広島県におけるサンヨウアオイの採集
36-06	吉村久貴	軽井沢町小瀬温泉にてメスアカミド リシジミを採卵
36-06	松井正人	独り言、ブツブツ
36-07	吉村久貴	1982年度採集手記より(その4)蓮華 温泉から白高地沢へ
36-09	吉村久貴	シリーズ案内&書評第2回<標本 ダンス>
37-01	吉村久貴	岐阜県神岡町土〜跡津川でヒサマツ ミドリシジミを採卵
37-02	松井正人	ブナグラ谷遊行記
37-03	松井正人	アサマシジミの庫内飼育
37-03	吉村久貴	長野県産ヒメギフの斑紋変異について
37-05	チョウキチホレ	古い台湾のはなし(その1)
38-01	吉村久貴	石川県富山県県境医王山夕霧峠の メスアカミドリシジミ
38-02	松井正人	大津にて

号-頁	著 者	報文タイトル
38-03	吉村久貴	1982年度採集手記より(その5)白山 湯ノ谷採集記
38-04	チョウキチホレ	古い台湾のはなし(その2)
38-07	吉村久貴	1982年度採集手記より(その6)初体験 <i>Catocala</i> 採集行
38-08	中西重雄	1982年医王山でのゼフ採集の成果
38-09	吉岡 泉	シリーズ案内&書評第3回 <広島県のチョウ>
39-01	吉村久貴	ウラジロガシよりアイノミドリシジミを採卵
39-01	中西重雄	富山県立山称名滝にてアサマシジ ミを採集
39-02	松井正人	オオヒカゲの食草の記録
39-03	中西重雄	金沢市釣部にてウラナミアカシジミ を採集
39-04	岩下泰子	河内村直海谷オナガシジミ採卵記
39-05	松井正人・岩下泰子	採卵はメスアカより
39-05	吉岡 泉	石川郡河内村にてオオミドリシジミ 雌を採集
39-06	吉村久貴	金沢大学薬学部薬草園のジャコウ アゲハ今昔
39-08	嵯峨井淳郎	採集地案内・2 <称名谷のオオゴマシジミ>
39-09	嵯峨井淳郎	シリーズ案内&書評第4回 <野草に関する新刊の紹介>
40-01	吉村久貴・吉岡 泉	加賀地方における <i>Zephyrus</i> の新産地(その1)
40-03	吉岡 泉・吉村久貴	ヒサマツミドリシジミ採卵にお ける新産地調査報告
40-04	吉村久貴	ヒサマツミドリシジミ♀の青斑の2系 統色について
40-04	中西重雄	尾口村岩間でメスアカミドリシジミを採集
40-06	吉岡 泉	ムラサキシジミを目撃
40-06	岩下泰子	森本方面のナラガシワについて
40-07	岩下泰子	ヒロコのつ・ぶ・や・きく春>
40-08	嵯峨井淳郎	シリーズ案内&書評第5回<図 説世界の昆虫>
40-08	嵯峨井淳郎	採集地案内・3<金沢市中尾周 辺のウラナミアカシジミ>
41-01	吉村久貴	加賀地方における <i>Zephyrus</i> の新 産地(その2)
41-02	吉村久貴・吉岡 泉	津幡町瓜生にてオオミド リシジミ卵を採集
41-03	金平永二	スギタニルシジミの怪
41-05	吉岡 泉	広島県水分峡にてギフチョウを採集
41-06	中西重雄	高山市原山採集記
41-07	松田俊郎	メスアカミドリシジミの採卵記録二題

号-頁	著 者	報文タイトル
41-08	嵯峨井淳郎	採集地案内・4 ＜富山県東砺波郡平村＞
41-09	嵯峨井淳郎	シリーズ案内 & 書評第6回 ＜アニマ83年3月号＞
42-01	吉村久貴・野中 勝	小松市大日川上流で メスアカミドリシジミ幼を採集
42-02	吉村久貴	河内村板尾にてウラゴマダラシジミ 幼を採集
42-02	金子二久	虫採りはVW(ファアヴェー)に乗って
42-04	岩下泰子	女採集人
42-06	吉村久貴	メスアカミドリシジミの産卵位置
42-06	松田俊郎	医王山にてフジミドリシジミを採卵
42-08	嵯峨井淳郎	シリーズ案内 & 書評第7回 ＜趣味の山野草83年3月号＞
42-08	嵯峨井淳郎	採集地案内・5＜上平村成出白 川村小白川のキフチョウ＞
42-09	チョウキチホル	PACHINKO狂
43-01	吉村久貴	アサマシジミ成虫の非常に早い発 生記録例
43-01	嵯峨井淳郎	白峰村におけるゼフィルス採卵記録
43-02	野中 勝	オオミドリシジミの斑紋異常型
43-03	岩下泰子	1982年ゼフィルス最盛期の医王山
43-05	金子二久	思い出ばなし: その2(失敗つづき)
43-06	井沢國雄	THAIチェンマイチェンダウにて
43-08	嵯峨井淳郎	採集地案内・6＜岐阜県吉城郡 神岡町＞
43-09	嵯峨井淳郎	シリーズ案内 & 書評第8回 ＜AMICA'82Dec＞
1984年		
44-01	竹谷宏二	1982年の撮影記録から
44-01	吉村久貴	河内村にてフジミドリシジミを採卵
44-03	吉村久貴	長野県木曽路のゴマシジミ
44-05	金子二久	ノコメがあった
44-05	吉村久貴	津幡町でCatocala 3種を採集
44-06	吉岡 泉	釈迦道(白山湯ノ谷)でのベニヒカゲ の記録
44-07	吉村久貴	1983年度医王山でのZephyrus 採 集記録
44-08	松井正人	最近の楽しい事
44-09	吉村久貴	シリーズ案内 & 書評第9回＜飛べ オムラサキ(講談社)＞
45-01	松井正人	ミヤマカラスシジミの記録
45-01	野中 勝・金子二久	金沢市横谷でミヤマカラ スシジミを採卵
45-02	吉村久貴	金沢市内におけるホソバセセリの記録
45-03	吉村久貴	長野県ヘビキツを追って南北(その1 北編北安曇郡小谷村)

号-頁	著 者	報文タイトル
45-04	吉村久貴	ウラギンヒョウモンの白斑発達異常型
45-04	吉岡 泉	広島市内でのサツマシジミの採集例
45-05	松井正人	白いアサマシジミ幼
45-06	中西重雄	岩間丸石谷ゴマシジミ探索谷底降り
45-07	野中 勝	トラフシジミの食樹二種の記録
45-08	松井正人	採卵会・雨の中でビールを飲む
45-08	野中 勝	鳥に襲われたヒオドシチョウ
45-09	松井正人	刈安山採卵行
46-01	中西重雄	白山釈迦道フジミドリシジミの乱舞
46-01	吉村久貴	白峰村市ノ瀬にてアミメキタバを採集
46-02	松井正人	中の川1982
46-03	吉村久貴	長野県ヘビキツを追って南北(その2 南編上伊那郡入笠山)
46-04	吉岡 泉	長野・群馬県境のベニヒカゲ多産地帯
46-05	松井正人	富山県釜谷山8月の蝶
46-06	野中 勝	ヒメオオクワガタ秋季採集例
46-07	野中 勝	寄生バエなんて恐くない
46-08	松井正人	採卵会・かじかむ手で卵を採る
46-09	松井正人	森本付近の注目すべき樹木
46-09	山岸善也	白山スーパー林道でキベリタテハを採集
47-01	中西重雄	河北郡津幡町太田地区にてオオヒ カゲ幼虫を採集す
47-01	中西重雄	中宮のスギタニルシジミ
47-02	松井正人	1983年はアサマシジミの大豊作
47-03	吉村久貴	オオゴマシジミ採集行
47-04	野中 勝	オオヒカゲの眼状紋異常型
47-05	吉村久貴・他2名	採卵・ウラナミアカシジミを 求めて
47-06	嵯峨井淳郎	ライトトラップに飛来したオオムラサキ
47-07	吉村久貴	金沢市卯辰山でスジボソヤマキチ ョウを目撃
47-07	嵯峨井淳郎	白山スーパー林道にてウラナミ シジミを採集
47-07	吉村久貴	薬草園でのアサギマダラを目撃記録
47-08	松田俊郎	獅子吼高原にてウラクロシジミを採卵
47-08	山岸善也	中宮でのパーペQ大会と幼虫採集
48-01	松田俊郎	大杉谷にてムモンアカシジミを採集
48-02	松井正人	ムモンアカシジミの記録
48-03	松田俊郎	ムモンアカシジミをクリから採卵
48-03	松井正人	採集会・ムモンアカシジミを尋ねて
48-04	嵯峨井淳郎	ムモンアカシジミの生態に関す る一文献の紹介
48-05	野中 勝	白山丸石谷にてアサマシジミを採集
48-06	吉村貴己	バイト採集記・黒部峡谷の巻
48-06	吉村久貴	福光町刀利ダムにてオナガシジミを採集
48-09	野中 勝	採卵記録票について

号-頁	著 者	報文タイトル
49-01	金平永二	ユキワリツマキチョウ飼育記録(中間報告)
49-04	松井正人	早春のオオヒカゲ
49-05	吉村久貴	The longest day <長野県縦断採集記>
49-06	野中 勝	ゼフむだ話(4)採集禁止
49-09	チョウキチホレ	同姓同名ではなかった
1985年		
50-01	吉村久貴	百万石蝶談会6年の歩み
50-06	金平永二	ユキワリツマキチョウ飼育記録(最終報告)
50-08	嵯峨井淳郎	誘蛾記1. 有峰湖のフシキキシタバ
50-10	井村正行	石川県のカミキリムシ科(その1)
50-13	竹谷宏二	1983年の撮影記録から
50-14	高平正明	ヒメジミの異常型を採集
50-15	松田俊郎	ムモンアカシジミ・獅子吼高原に産す
50-16	野中 勝・中西重雄	ウラキシジミの1卵塊中の卵数について
50-17	野村 明	NOMURA-AKIRAの初体験<初めての採幼・採卵>
50-18	松井正人	あわれなミズナラ君その後
50-18	山岸善也	年末スキー採卵
50-19	吉村貴己	GT(グランドツーリング)採集記《白山三ツ谷の巻》
50-21	大島國雄	図々しい俺
50-22	勝海雅夫	8月中旬信州開田高原にて
50-22	吉村久貴	岩間丸石谷にてヒメオオクワガタを採集
50-25	金子二久	思い出ばなし: その3(よのなか不思議なことばかり)
50-27	中西朱美	凸凹採集記
50-29	小幡英典	記念号オメデトウゴザイマス
50-29	田辺幸雄	蝶を撮る
50-30	松井泰子	ヒロコの“YODAN”「翔50号に寄せて」
50-33	松井正人	フ化率を上げる採卵法
50-34	野中 勝	ゼフむだ話(5)石川県ゼフ採卵史
50-37	中西重雄	リハビリテーションと採卵の効用
50-38	松井正人	ある山行
50-39	金子二久	簡易薄型標本箱試作2案
50-40	吉岡 泉	ある“昆虫展”を見て感じたこと
51-01	松井正人	オオチャイロハナムグリを採集
51-01	勝海雅夫	医王山にてムラサキシジミを採集
51-01	山岸善也	白山のゴマシジミ
51-02	吉村久貴	加賀海岸で見られた蝶
51-02	吉村久貴・吉村貴己	白峰村大杉谷にてツマジロウラジャノメを確認
51-03	中西重雄	ナラガシワよりゼフの幼虫を採集
51-03	中西重雄	フジミドリシジミの異常型を採集

号-頁	著 者	報文タイトル
51-04	野中 勝	ツキワクチバの石川県下の採集例
51-04	吉村久貴	白山南竜馬場で見られた蝶
51-05	松井正人	気になる記録
51-05	野中 勝	石川県でナマリキリガを採集
51-06	中川邦隆	Self introduction
51-06	野中 勝	石川県におけるオサムシ3種の記録
51-07	野中 勝・中西重雄	新連載オサムシコーナー: 予告編
51-07	嵯峨井淳郎	大雪の中、フクラスズメを採る
51-08	嵯峨井淳郎	シリーズ案内&書評第10回<冬芽でわかる落葉樹>
51-08	金子二久	テクニカルコーナー<菅笠のすすめ>
52-01	嵯峨井淳郎	誘蛾記2. 白馬のアズミキシタバ
52-02	松井正人	キマダラセセリのホソバセセリ型幼虫
52-03	松井正人	ウラナミアカシジミの採幼
52-04	吉村久貴	1985年度ギフチョウ属調査記録
52-06	松井正人	江沼郡山中町のギフチョウ
52-07	大島國雄	そのうちできる木曾博物館
52-08	中西重雄	治虫に手を染める
53-01	松井正人	カラスシジミついに墮ちる
53-01	松田俊郎	ムモンアカシジミを飼育して
53-03	松井正人	ムモンアカシジミ飼育記録
53-03	金子二久	飼育結果報告
53-04	野中 勝	ゼフむだ話(6)ムモンアカ悲喜こもごも
53-07	澤田 博	Self introduction
53-08	野中 勝	訂正とおわび
54-01	松井正人	オオヒカゲ調査<1984>
54-01	野中 勝	一里野でノコメキシタバを採集
54-03	松井正人	初冬のオオヒカゲ
54-03	松井正人	風変わりオオヒカゲの飼育記録
54-04	野村 明	NOMURA-AKIRAの初体験Part2
54-05	松田俊郎	ムモンアカシジミについての疑問
54-06	野中 勝	オサムシコーナー2. ノジママイマイ
54-06	金子二久	大塔山採集行
54-06	松井正人	有峰湖のカラスシジミ
1986年		
55-02	松井正人	四国・徳島・ベニモンカラス
55-03	松井正人	ホシミスジ飼育記録
55-04	野中 勝	オサムシコーナー3. 医王山のアオカタビロオサムシ
55-06	編集部	1985年石川県昆虫界10大ニュース
55-08	田中秀夫	Self introduction
55-08	横山 隆	Self introduction
56-02	野中 勝	石川県のスギタニルシジミ
56-05	中西重雄	ギフチョウ蛹化場所の1例
56-06	井村正行	石川県のカミキリムシ科(その 2)
56-10	松井泰子	またまたぼんの余談です...

号-頁	著 者	報文タイトル
56-11	吉田徹也	Self introduction
56-11	山口英夫	Self introduction
56-12	編集部	1986年私の抱負一覧表
56-12	松井正人	エゾエノキからオオムラサキを採幼
57-02	松井正人	ムモンアカシジミの新産地を求めて
57-03	松井正人	ギフチョウ雌の吸水行動
57-04	松井正人	ミスジチョウを採幼
57-04	松井正人	越年葉に食い付いたギフチョウ
57-04	松井正人	四国・カンアオイ探しとクロコノマ
57-06	野中 勝	オサムシコーナー4. オサムシ余話
57-07	野中 勝	金沢市国見山でサビナカボソタマムシを採集
57-08	松井正人	ギフだらけ
57-08	野中 勝	ゴミムシダマシ科2種の記録
57-08	M.NONAKA	セント・ルイスからの第一報
57-09	山本直樹	Self introduction
58-02	金子二久	そこには、ただ風の吹いているだけ
58-05	松井正人	金沢市周辺のフジミドリシジミの新産地
58-06	井村正行	石川県のカミキリムシ科(その 3)
58-09	松井正人	白峰村でギフチョウの発生地を確認
58-10	松井正人	室戸岬のヤクシマルリシジミ
59-02	松井正人	ホシチャバネセセリを採幼
59-03	松井正人	カラスシジミの幼虫色に関する1資料
59-03	松井正人	クリの花からミヤマカラスシジミを採集
59-04	井村正行	石川県のカミキリムシ科(その 4)
59-07	松井正人	オオチャイロハナムグリに手を汚す
60-02	松井正人	ホシチャバネセセリを採幼(その2)
60-02	松井正人	下小屋でカラスシジミを採卵
60-03	井村正行	石川県のカミキリムシ科(その 5)
60-06	松井泰子	ヒロコの日記から
60-06	小幡英典	日頃虫を眺めていて思いめぐらす事
60-09	菊池雅之	Self introduction
60-09	松井正人	宝達山にてアサギマダラ多数を目撃
60-10	松井正人	ウラナミアカシジミの蛹に透ける玉の正体は?
60-10	井村正行	ヤコンオサムシの一採集例について
60-10	松井正人	白山薬師山でベニヒカゲとゴマシジミを目撃
1987年		
61-02	松井正人	1986年アサギマダラの発生地調査
61-03	吉村久貴	唐松岳から爺ヶ岳へ(後立山縦走記)
61-05	井村正行	マヤサンコブヤハズを宝達山で記録
61-06	松井正人	金沢から最も近いゼフィルス24
61-07	井村正行	石川県のカミキリムシ科(その6)
61-10	編集部	1986年石川県昆虫界10大ニュース
62-02	田中秀夫	金沢市におけるオオムラサキの分布
62-04	金子二久	思い出ばなし:その4(メッコキシタバ)

号-頁	著 者	報文タイトル
62-05	吉村久貴	初めての遠出採集
62-06	松井正人	白峰村赤谷川のギフチョウ
62-06	吉村久貴	富山県砺波市におけるクロコムラサキの記録
62-07	松井正人	スッポンタケに引かれたセンチコガネと...
62-07	井村正行	石川県におけるソボリンゴカミキリについて
62-08	編集部	1987年私の抱負
62-08	多富 敏	Self introduction
63	嵯峨井淳郎	石川県のCATOCALA
64-02	松井正人	河内村板尾コツ谷上流域にウスバサイシンを発見
64-03	松井正人	ギフチョウの蛹殻を発見
64-03	山本直樹	奈良県川上村のギフチョウ
64-04	松井正人	加賀地方のカンアオイ分布図
64-04	山本直樹	西会津町のギフチョウ
64-06	松井正人	ギフチョウの産卵順序について
64-06	嵯峨井淳郎	黒部市宮野山運動公園にてギフチョウを目撃
64-06	金子二久	思い出ばなし:その5(ギフの思ひ出)
64-08	松井正人	1987年・暖冬・ギフチョウ初見記録更新作戦
64-08	松井泰子	まぼろしのギフチョウ
64-09	高野敏明	Self introduction
65-02	嵯峨井淳郎	宝達山のウスバシロチョウ
65-03	嵯峨井淳郎	押水町宝達〜山崎地内にて見かけた蝶
65-03	嵯峨井淳郎	金沢市北部地域におけるウスバシロチョウ
65-04	松井正人	石川県のアサギマダラ
65-10	井村正行	石川県のカミキリムシ科(その 7)
65-13	井村正行	ホソツヤヒゲナガコバネカミキリを採集
65-14	金子二久	医王山におけるムラサキシタバの記録
65-14	金子二久	白山、念仏尾根のベニヒカゲ探索行
65-14	山本直樹	蛭ヶ野高原のギフチョウ採集法について
66-02	澤田 博	金沢市医王山でムモンアカシジミを採集
66-02	松井正人	白峰村砂御前山でゴマシジミを採集
66-03	松井正人	ススキよりセセリ2種を採集
66-03	澤田 博	医王山のヒメキマダラヒカゲについて
66-03	松井正人	白峰村小赤谷でギフチョウを確認
66-04	松井正人	メスグロヒョウモンを飼育して
66-05	吉村久貴	学校登山(白山でのクジャクチョウの目撃記録)
66-07	嵯峨井淳郎	八尾町白木峰にて
66-08	チョウキチホレ	立山に産する蝶の諸問題について
66-09	細沼 宏	Self introduction

号-頁	著 者	報文タイトル
66-09	井村正行・中西重雄・松井正人	キベリタテハの前蛹と蛹を発見
67-02	松井正人	アサギマダラの交尾行動を観察
67-03	山本直樹	白山スーパー林道三方岩休憩所付近の蝶
67-03	吉村久貴	富山県大多和峠におけるムモンアカシジミの採集記録
67-04	松井正人	宝達山のアサギマダラは移動個体群
67-05	勝海雅夫	白山周辺のムモンアカシジミの発生について
67-06	吉村久貴	富来町高爪山における採集記録
67-07	松井正人	医王山のゴマシジミ
67-07	田中秀夫	金沢市戸室地区でオオミスジ採幼
67-08	野中 勝	ロッキー1
1988年		
68-01	野中 勝	ロッキー2
68-07	編集部	1987年石川県昆虫界10大ニュース
69-01	松井正人	アサギマダラの県内秋発生は可能
69-02	松井正人	ギフチョウの初見記録
69-03	松井正人	中国・桂林の蝶
69-04	指田春喜	Self introduction
69-04	嵯峨井淳郎	白峰村砂御前山にて
69-05	中西重雄	アオマイマイカブリの島、粟島へ
69-06	松井正人	キマダラヤマカミキリをクリ園にて採集
69-06	井村正行	対馬産フタスジゴマフカミキリ(キリシマゴマフ)
69-07	編集部	アサギマダラ・マーキング一覧(1987)
69-07	井村正行	白山のクリとカミキリ
69-08	編集部	1988年私の抱負
70-01	松井正人	ミスジチョウを採幼
70-02	嵯峨井淳郎	小赤谷にてギフチョウ成虫を採集
70-03	勝海雅夫	白峰村のギフチョウ
70-04	松井正人	石川県の珍蝶
70-07	松井正人	ススキを食べていたヒメジャノメの記録
70-07	井村正行	長野県開田村のヤツボシシロカミキリについて
70-08	松井正人	医王山ムモンアカシジミ調査マップ
71-01	指田春喜	1988年、医王山、アイノミドリ乱舞
71-04	松井正人	奥能登のウスバシロチョウ
71-05	チョウキチホレ	ギフチョウ・ラヴ・コール
71-05	嵯峨井淳郎・他	ギフチョウの第4食草を確認
71-07	ヒロコ	SUN SUN 午後
71-07	小幡英典	オサムシが釣れた
72	野中 勝・他2名	石川県のオサムシ採集記録
73-01	松井正人	1988白山釈迦岳、キベリタテハは豊作か
73-02	勝海雅夫	1988乗鞍にて

号-頁	著 者	報文タイトル
73-03	吉岡 泉	関西ギフ物語
73-05	指田春喜	ある日、標本箱を見ながら思うこと
74-01	勝海雅夫	蛇谷でヒメシジミの幼虫を採集
74-01	指田春喜	噴泉塔(白山麓・岩間温泉)でヒメシジミ6頭を目撃確認
74-02	松井正人	赤兎山でゴマシジミを採集
74-03	勝海雅夫	新穂高《左俣谷のオオゴマシジミ》
74-03	野中 勝	白山市の瀬のシモツケにホシミスジが発生
74-04	吉岡 泉	タテハモドキ雑記
74-05	野中 勝	カナディアン・ロッキーその1
74-07	中西重雄・野中 勝	ホリヒメクロオサムシ、石川県金沢市、富山県西砺波郡に産す
74-08	松井正人	オニヤンマがにくい
74-08	野中 勝	富山県西砺波郡ブナオ峠付近の甲虫数種の記録
74-09	ヒロコ	SUN SUN 午後
1989年		
75-01	野中 勝	ムモンアカシジミの採蛹
75-03	松井正人	ギフチョウの初見記録とサクラの開花宣言
75-04	編集部	アサギマダラ・マーキング一覧(1988)
75-05	野中 勝	やっぱり冬は採卵に限る
75-07	吉岡 泉	ギフチョウの早い記録
75-08	中田泰介	蝶談会年間ベスト10決定秘話
76-01	指田春喜	金沢市郊外のアゲハチョウ類の終息日について
76-02	松井正人	宝達山のアサギマダラ
76-03	勝海雅夫	1988年Luehdorfia採集個体から
76-04	野中 勝	カナディアン・ロッキーその2
76-11	ヒロコ	SUN SUN 午後
76-12	編集部	1989年私の抱負
77-01	野中 勝	スギタニルリシジミの浅野川水系からの記録
77-01	松井正人	能登のオオムラサキ
77-02	吉村久貴	1989年度ギフチョウ確認記録
77-02	野中 勝	ギフチョウ初見記録の追加
77-03	野中 勝	ミズイロオナガシジミをサクラより採卵
77-03	野中 勝	金沢市近傍のメスカミドリシジミの記録
77-04	松井正人	8月の八尾町白木峰にて
77-04	野中 勝・松井正人	熊走でウスバシロチョウを採幼
77-05	指田春喜	マレーシア採集旅行覚え書
77-15	松井正人	アサギマダラのヘアーペンシル
77-15	松井正人	こんな道あんな道《林道佐比野線》
77-16	ヒロコ	SUN SUN 午後

号-頁	著 者	報文タイトル
78-01	松井正人	オヒョウよりシータテハの幼虫を確認
78-02	松井正人	奥能登のウスバシロチョウ(その2)
78-03	日野正美	Self introduction
78-03	上田 昇	Self introduction
78-03	松井正人	金沢市牧山でジャコウアゲハの 発生地を発見
78-04	野中 勝	カナディアン・ロッキーその3
78-12	ヒロコ	SUN SUN 午後
79	指田春喜	特集<台湾8月の蝶類採集品リスト>
80-01	野中 勝	ブナ科食ゼフィルス数種のサクラに よる飼育の試み
80-05	松井正人	キペリタテハの卵塊を確認
80-06	吉村久貴	アサマジミの雌雄型
80-07	松井正人	山ゴマノート1989
80-08	松井正人・田辺幸雄	アサギマダラの飛来遅れる
80-08	澤田 博・野中 勝	新連載ピドニアコーナー 予告編
81-01	井村正行・他5名	富山県に於けるヒサマツミツリ ジミの分布調査(その1)
81-03	野中 勝	富山県福光町ナガトロ峡で7月2日 に観察した蝶類
81-04	野中 勝	富山県福光町ナガトロ峡でヨコヤマビゲ ナガミを採集
81-05	澤田 博	大門山・赤摩木古山にヒメハナカミ キリ属を求めて
81-09	編集部	アサギマダラ・マーキング一覧(1989)
81-09	松井正人	こんな道あんな道《林道犀鶴線》
1990年		
82-01	中西重雄・他3名	富山県に於けるヒサマツミツリ ジミの分布調査(その2)
82-03	井村正行・他5名	石川県に於けるヒサマツミツリ ジミの分布調査(その1)
82-05	勝海雅夫	今年も採卵シーズン到来!
82-06	澤田 博	白山釈迦林道ヒメハナカミキリ属調 査記録(1989)
82-09	腰本文子	Self introduction
82-09	野中 勝	ベニシタバを金沢市俵で採集
82-10	編集部	1989年蝶談会10大ニュース
83-01	松井正人	食樹を降り蛹化場所を決定するま でのキペリタテハの行動
83-03	指田春喜	マレーシアの蝶についての報告(2) :アゲハチョウ科(その1)
83-07	井村正行・他3名	再開オサムシコーナー(1) 【セアカササミの越冬場所】
83-09	松井正人	石川県におけるウスバシロチョウの分布
83-12	編集部	前田家の財宝捜しレース
84-01	上田 昇	アカマダラコガネの採集についての報告

号-頁	著 者	報文タイトル
84-01	井村正行	石川県産のカミキリ2種の記録報告
84-02	野中 勝	スギノアカネトラカミキリの訪花例
84-02	井村正行	富山県産のカミキリ2種の記録報告
84-03	井村正行・他3名	富山県に於けるヒサマツミツリ ジミの分布調査(その3)
84-05	指田春喜	マレーシアの蝶についての報告(3) :アゲハチョウ科(その2)
84-09	指田春喜	求む! 日本産蝶類などの余剰品
85-01	松井正人	シータテハの若齢幼虫を観察
85-01	松田俊郎	フタバアオイを食べるギフチョウ
85-03	野中 勝	アオスジアゲハのゲッケイジュへの 産卵例
85-03	野中 勝	ゼフィルスの野外に於ける孵化期 について
85-04	澤田 博	富山県福光町ナガトロ峡の蝶について
85-05	指田春喜	Pieris属(スジグロシロ、エゾスジグロシロ)の 発香鱗のおはなし
85-07	編集部	財宝捜しレース第1コーナーを回る!
86-01	松井正人	金沢市でゴマシジミとアサマジミ を発見
86-02	澤田 博	石川県白峰村大杉谷林道で採集し たカミキリについて
86-03	松井正人	ツマグロヒョウモンの集まる山
86-04	野中 勝	白山のハクサンヒメハナカミキリ
86-04	野中 勝	白峰村百合谷でエサキキンヘリタマ ムシを採集
86-05	澤田 博	アカハナカミキリの伝説
86-05	上田 昇	ヤマエンゴサクにてウスバシロチョ ウの幼虫を採集
86-05	野中 勝	石川県でシロスジシャチホコを採集
86-06	左合 直	Self introduction
86-07	指田春喜	簡単な展翅標本のシミ抜き法
86-09	松井正人	まぼろしの泉丘標本
87-01	松井正人	オオカモヅルからアサギマダラを発見
87-02	野中 勝	オニベニシタバの習性
87-03	松井正人	ツマグロヒョウモンの集まる山(その2)
87-04	松井正人	アサギマダラを14日後に再捕獲
87-05	指田春喜	マレーシアの蝶についての報告(4) :シロチョウ科(その1)
87-09	松井正人	アサギマダラの急降下を目撃
87-09	松井正人	鳥に攻撃されたいらしいアサギマダラ
1991年		
88-01	松井正人	アサギマダラを8月から9月に飼育
88-02	野中 勝	飼育失敗記:その1《スギタニルリジミ》
88-03	松井正人	石川県に於けるゼフィルスの分布
88-07	井村正行	ゴイシモモトカミキリを採集

号-頁	著 者	報文タイトル
88-07	澤田 博	金沢市医王山でホソヒゲケバカミキリを採集
88-07	野中 勝	続スギノアカネトラカミキリの訪花例
88-08	井村正行・中重雄	奥能登に於けるカミキリ2種の記録
88-09	野中 勝	これで良いのか、「1990年石川県虫界ベスト3」
89-01	野中 勝	飼育失敗記: その2《桜によるゼフィルスの飼育》
89-03	松井正人	アサギマダラを3種の食草で飼育
89-04	松井正人	茶畑に集まるアサギマダラ
89-05	松井正人	石川県に於けるゼフィルスの分布2
89-11	指田春喜	マレーシアの蝶についての報告(5): シロチョウ科(その2)
89-14	野中 勝	クロカタビロオサムシの追加記録
89-14	井村正行	ダイミョウアトキリゴミムシの採集記録
89-14	井村正行	ルリクワガタの越冬成虫を採集
89-15	井村正行	ムネアカセンテコガネを採集
89-15	澤田 博	守家待天牛: その1《ゴマダラカミキリ》
90-01	野中 勝	イチモンジチョウとアサマイチモンジの蛹の体色について
90-02	松井正人	金沢城址でミスジチョウの越冬幼虫を確認
90-03	松井正人	石川県に於けるゼフィルスの分布3
90-07	勝海雅夫	フジミドリシジミの採幼について
90-08	指田春喜	マレーシアの蝶についての報告(6): 第3回マレーシア採集コース概略
90-11	松井正人	アサギマダラの涙
90-11	井村正行	シリグロオオケシキスイの記録
90-11	野中 勝	富山県でオオオサムシを採集
91-01	吉村久貴	奥能登に於ける褐色型コムラサキの記録
91-01	松井正人	能登半島に於けるコムラサキの一資料
91-02	松井正人	金沢市堂でスギタニルリシジミを確認
91-02	勝海雅夫	黒部市のギフチョウ《宮野山公園にて》
91-03	松井正人	石川県に於けるゼフィルスの分布4
91-09	井沢國雄	スペクタビリス採集記
91-11	野中 勝	蝶の異常型3題
92-01	竹谷宏二	クジャクチョウの目撃記録
92-01	澤田 博	白山釈迦林道でクジャクチョウを採集
92-02	松田俊郎	辰口町鍋谷にてクジャクチョウを目撃
92-03	松井正人	8月の白山七倉山で見かけた蝶
92-03	井村正行	石川県でメスアカムラサキを採集
92-04	勝海雅夫	立山・弥陀ヶ原にて
92-05	松井正人	石川県に於けるゼフィルスの分布5
92-09	野中 勝	石川県におけるヤコンオサムシ、オオオサムシの分布

号-頁	著 者	報文タイトル
92-12	松井正人	アサギマダラの吸い寄せ術でマージングは大快調
92-13	ヒロコ	SUN SUN 午後
93-01	嵯峨井淳郎	ウラギンシジミ吸水、吸汁例
93-02	江口元章	能登におけるシータテハの記録
93-03	勝海雅夫	ウラクロシジミの採幼について
93-04	松井正人	アサギマダラを26日後に再捕獲
93-04	竹谷宏二	ゴマシジミの早い目撃記録
93-05	井村正行	石川県のカミキリムシ科(その 8)
93-08	野中 勝・他	石川県の注目すべき甲虫数種の記録
93-09	指田春喜	B型のオラン・アスリーは可哀想
1992年		
94-01	松井正人	1991年の石川県はコノマチョウが豊作?
94-03	嵯峨井淳郎	ミヤマカラスアゲハ雑感1
94-05	井村正行	カミキリムシ3種の採集記録
94-05	江口元章	加賀市にてツマグロキチョウを確認
94-06	勝海雅夫	真夏の飛騨・信濃路ひとり旅
94-09	松井正人	天空の蝶・アサギマダラ
95-01	松井正人	カラスシジミの終齢幼虫を観察
95-01	野中 勝	暖冬と越冬成虫
95-02	嵯峨井淳郎	1990年トンボ5態
95-03	松井正人	石川県のタテハチョウ
95-07	井村正行	石川県のカミキリムシ科(その 9)
96-01	松井正人	ウスイロコノマチョウを飼育して
96-02	井村正行	石川県のカミキリムシ科(その10)
96-05	松井正人	石川県のタテハチョウ2
96-09	野中 勝	羽咋市滝港におけるハンミョウの観察
96-09	嵯峨井淳郎	河内村板尾でオオオサムシを確認
97-01	井村正行・野中 勝	石川県のゲンゴロウ科調査報告
97-10	井村正行・他2名	コガシラミズムシ科の石川県初記録種
97-11	徳本 洋	北陸三県ならびに愛知県の県別水棲甲虫類記録状況一覧
97-20	野中 勝	採集地案内: 水棲昆虫のメッカ、金沢市曲子原
98-01	松井正人	ツマグロヒョウモン♀とオウウラギンシジモの自然交尾を観察
98-02	松井正人	イケマからアサギマダラの卵と幼虫を発見
98-02	野中 勝・井村正行	石川県でキンイロネクイハムシを採集
98-03	松井正人	石川県のタテハチョウ3
98-11	上田 昇	オオルリオサムシの採集記録
98-12	上田 昇	オオイチモンジシマゲンゴロウの採集記録

号-頁	著 者	報文タイトル
98-12	源 五郎	ゲンゴロウの種名に見る「小ささ」を表す接頭語の研究
98-12	野中 勝	富山県平村猫池でカラカネトンボを採集
98-13	指田商会	お譲りいたします
98-13	吉岡政幸	自己紹介
99-01	松井正人	石川県のタテハチョウ4
99-05	井村正行	石川県のカミキリムシ科(その11)
99-07	中西重雄	ウラナミアカシジミの目撃記録
99-07	吉村久貴	河内村板尾におけるキペリタテハの目撃記録
99-07	松井正人	内浦町坪根にて見かけた蝶
99-08	野中 勝	ヤコンオサムシの朽木からの採集例
99-08	野中 勝	高岡市守山のクロコムラサキ
99-08	井村正行・野中 勝	庄川中流域の渓流性ゲンゴロウ
99-09	澤田 博	バリ島の虫簡
1993年		
100-03	嵯峨井淳郎	『翔』発刊100号記念に寄せて
100-05	井村正行	石川県産のカミキリムシ科について
100-07	江口元章	ハクサンクロナガオサムシの低い標高での記録
100-08	松井正人	ツマグロヒョウモンとオウラキンスジヒョウモンの雑種が羽化
100-10	野中 勝	白山のホシミスジの黒化傾向について
100-11	徳本 洋	石川県昆虫総目録作成の声をめぐって
100-18	澤田 博	石川県のカムシメハナカミリ種群について
100-23	野中 勝	白峰村釈迦林道で得られた石川県初記録の甲虫3種
100-24	松田俊郎	1992年トンボ3題
100-25	山本直樹	ゴマシジミと標高について
100-27	諸道秀人	百万石蝶談会の想い出
100-28	下田俊幸	雑感数題
100-29	井村正行・上田 昇・中西重雄	本県産カミキリムシ科3種の記録
100-30	山岸善也	1992年を振り返って
100-32	中川邦隆	ギフチョウの想い出
100-33	高羽正治	『翔』100号、おめでとうございます
100-34	竹谷宏二	1992年の撮影記録から
100-35	日野正美・美恵子	日本鱗翅学会に出席して感じた事
100-36	上田 昇	ゴミムシと実体顕微鏡
100-37	宮本信一	ツマグロヒョウモンの撮影記録
100-37	高野敏明	蝶談会のオーラに揺さぶられっぱなし
100-38	中田泰介	創刊100号によせて
100-39	田中秀夫	今、エビネに
100-39	小幡英典	祝辞
100-40	井沢國雄	虫屋のバリ島案内

号-頁	著 者	報文タイトル
100-41	編集部	表紙に見る『翔』の歴史
100-42	編集部	総目次
101-01	嵯峨井淳郎	ミヤマカラスアゲハ雑感2
101-02	松井正人	黄色のモンキチョウが産卵
101-03	松井正人	石川県のタテハチョウ5
101-07	井村正行	石川県のカミキリムシ科(その12)
102-01	松井正人	金沢市医王山でアサギマダラの発生を観察
102-02	徳本 洋・高羽正治	甲虫三千種への道
102-07	富沢 章	加賀・江沼のオオムラサキ
102-07	野中 勝	石川県初記録の甲虫5種
102-08	上田 昇	エゾカタビロオサムシ越冬個体の採集記録
103-01	松井正人	海岸にも見られるミヤマチャバネセセリ
103-02	竹谷宏二	ウラナミアカシジミ金沢市キゴ山に産す
103-02	井村正行	石川県産甲虫類の未記録と考える3種の採集報告
103-03	松井正人	石川県のタテハチョウ6
103-07	松井正人	アサギマダラの早い採集例
103-07	松井正人	ヒヨドリに捕食された蝶2題
103-08	立脇康嗣	自己紹介
104-01	松井正人	能登産コムラサキの飼育記録
104-03	井村正行	「石川県のゲンゴロウ科調査報告」の訂正と追加
104-05	松井正人	キノコ周辺で得られた石川県初記録の甲虫
104-06	井村正行・中西重雄	アオカタビロオサムシの採集追加報告
104-07	江崎功二郎	自己紹介
104-08	生田省悟	自己紹介
105-01	松井正人	石川県のタテハチョウ7
105-05	井村正行	石川県のカミキリムシ科(その13)
105-07	野中 勝	石川県の甲虫3000種運動に2の貢献
105-07	松井正人	キノコ周辺で得られた石川県初記録の甲虫その2
105-09	松井正人	京都府立植物園でアサギマダラの夢を見た
105-10	高田兼太	自己紹介
1994年		
106-01	吉村久貴	ミヤマカラスシジミの成虫採集例
106-02	富沢 章	意外に多いフジキオビ
106-03	松井正人	石川県のタテハチョウ8
106-10	江口元章	石川県初記録のマグソコガネ2種
107-01	松井正人	石動山のギンイチモンジセセリについて
107-03	徳本 洋	石川県の糞虫相解明度は全国最低!
107-05	井村正行	石川県のカミキリムシ科(その14)
107-09	上田 昇	石川県初記録のヤマトケシマグソコガネ

号-頁	著 者	報文タイトル
107-10	松井正人	石川県のセミの記録
108-01	高田兼太	カマキリモドキおよびヒメカマキリモ ドキの観察
108-03	江崎功二郎	昆虫用語の基礎知識《過変態》
108-04	八神徳彦	奥能登の甲虫リスト
108-07	松井正人	兼六園のギフチョウ
108-09	井村正行	石川県のカミキリムシ科(その15)
108-12	松井正人	オオヒカゲの食草を追加
108-12	源 五郎	酒を飲みながら思いめぐらす事
109-01	江崎功二郎	日本未記録のキスジラクダムシ 科の幼虫の形態
109-03	高田兼太・他	瀬女高原のカミキリムシ
109-04	松井正人	キノコ周辺で得られた石川県初記 録の甲虫その3
109-05	松井正人	メスグロヒョウモンの第2化と蛹越冬
109-06	高田兼太	ジャコウアゲハの石川郡鶴来町で の採集・目撃記録
109-06	松井正人	石動山のカンアオイとカラハナソウ
109-07	指田春喜	マックが来た
109-08	松井正人	宝達山のヒョウモンチョウ
110-01	生田省悟	ウラナミアカシジミの目撃・採集例若干
110-02	江崎功二郎・高田兼太	ヒゲナガヒメリカミキリの石 川県初採集記録
110-02	松井正人	宝達山でムラサキシタバを拾う
110-03	松井正人	石川県のジャノメチョウ
110-07	澤田 博	オオゴマダラは白い帽子で
110-08	松井正人	キンジソウでアサギマダラを吸い寄 せよう
111-01	高田兼太	ムラサキシジミの石川郡鶴来町で の採集記録
111-01	富沢 章	ムラサキシジミの目撃二例
111-02	松井正人	石川県のムラサキシジミ
111-03	松井正人	石川県のジャノメチョウ2
111-07	高田兼太・江崎功二郎	訪花性誘引器で採集 したカミキリムシ
111-10	名前のない猫	あいさつ方々、今後をよろしく 1995年
112-01	徳本 洋	石川県内セミ分布情報の過去、現在
112-06	澤田 博	金沢市でクマゼミの声を聞く
112-07	高田兼太	石川県におけるクマゼミの記録
112-07	宮本 大	クマゼミの声かな?
112-08	江口元章	石川県内でのクマゼミの記録
112-09	松井正人	1994年におけるセミの記録
112-11	澤田 博	夏に見られたモズのはやにえ
112-12	松井正人	「偶然」は偶然か
113-01	富沢 章・富沢直浩	樹液に集まった昆虫
113-03	松井正人	石川県産ツマグロキチョウを採集

号-頁	著 者	報文タイトル
113-04	松井正人	ミヤマチャバネセセリの蛹化場所
113-05	徳本 洋	地方的分布記録と同好会誌
113-08	松井正人	キノコ周辺で得られた石川県初記 録の甲虫その4
113-09	松井正人	ヒグラシを捕まえたオニヤンマ
113-09	松井正人	ダイミョウセセリの越冬幼虫を採集
113-10	小幡英典	モスラ雑感
114-01	井村正行	石川県のカミキリムシ科(最終回)
114-07	松井正人	海岸地域に分布するミヤマチャバネ セセリの下顎長
114-09	松井正人	鶴来町でホシミスジを確認
114-09	五萌夢美	美しき誤算
114-10	名前のないネコ	ネコジャラダムスの大予言
115-01	松井正人	石川県のジャノメチョウ3
115-07	矢田新平	1992~1994年採集の蝶の記録より
115-08	中西重雄・井村正行	石川県産ホソハンミョウ の記録
115-08	松井正人	アサギマダラの不思議な知恵?
115-09	井村正行・江崎功二郎・高田兼太	石川県産オ チャイロハナムグリの一知見
115-09	牧原悟郎	自己紹介
116-01	澤田 博	金沢市俵大池周辺のトンボ相
116-03	矢田新平・石川卓弥	西表島、石垣島で採集した蝶
116-05	松井正人	石川県のジャノメチョウ4
116-08	澤田 博	金沢市西念でクマゼミの声を聞く
116-09	牧原悟郎	北陸の蝶2題
116-10	松井正人	夏季にメスグロヒョウモン多数を観察
116-10	高田兼太	ホソツヤヒゲナガコバネカミキリの 野外成虫採集記録
117-01	澤田 博	アカトンボに関する覚書
117-03	松井正人	海岸で盛んに吸汁するアオスジアゲハ
117-03	富沢 章	チョウ2種の採集例
117-04	諸道秀人	大津市及び近郊のクロコノマチョウ について
117-04	松井正人	1995年セミの遅鳴き記録
117-05	指田春喜	1994年、虫屋たちとの遭遇
117-08	五萌夢美	小さなとまどい
1996年		
118-01	松井正人	平地で聞いたチッチゼミとエゾゼミ 類の声
118-02	矢田新平	小松市の「憩いの森」におけるオサム シについて(1994年)
118-07	松井正人	訪花性誘引器に落ち込んだ蝶
118-09	富沢 章	ヒロヘリアオイラガの石川県におけ る記録
118-10	井村正行	カワラゴミムシの追加記録と一知見
118-10	野中 勝	石川県におけるアイヌハンミョウの記録

号-頁	著 者	報文タイトル
118-11	井村正行	石川県初記録となるカミキリムシ2種の記録
118-11	諸道秀人	クロヒカゲモドキの越冬前幼虫の生態について
118-12	松井正人	ヒメハルゼミの声を聞く会
119-01	松井正人	チャバネセリとミヤマチャバネセリの下顎長の比較
119-03	指田春喜	これがぼくの「ギフチョウ・コレクション」
119-06	松井正人・富沢 章	小松市立博物館所蔵の昆虫標本
119-07	富沢 章・富沢直浩	小松市でクロカタビロオサムシを採集
119-07	井村正行	クロカタビロオサムシの追加記録
119-08	松井正人	白山中宮温泉付近のカミキリムシ
120-01	森 正俊	石川県小松市で発生したカバマダラ
120-04	松井正人	石川県押水町で発生したカバマダラ
120-09	富沢 章	カバマダラの飛来要因と発生経過を探る
120-12	松井正人	1969年に採集されたカバマダラについて
121-01	松井正人	再びツマグロヒョウモンの雑種が羽化
121-05	松井正人・森 正俊	ポピュラーになりつつあるウスイロコノマチョウ
121-06	富沢直浩	僕の採ったチョウの記録
121-10	高田兼太	瀬女高原のカミキリムシ(Ⅱ)
121-10	諸道秀人	市街地の鉢植で発生したアゲハの仲間
121-11	野中 勝	カトカラ狂い Part3
122-01	山口英夫	石川県でシマゲンゴロウ発見
122-01	井村正行	石川県未記録のマルケシゲンゴロウの記録
122-02	松井正人	訪花性誘因器で採集した石川県初記録の甲虫
122-03	矢田新平	小松市内でのイッシキキモンカミキリ採集記録
122-03	井村正行・野中 勝	石川県で珍しいと思われるカミキリムシ2種の記録
122-04	細沼 宏	1996年奄美諸島蝶の記録
122-05	山岸善也	1995年秋八重山採集記
123-01	井村正行・他3名	アオマダラタマムシの追加記録
123-02	富沢 章	加賀南部におけるウスバシロチョウの記録
123-02	井村正行	内灘砂丘で採集したクワガタムシ
123-03	松井正人	加賀低山帯のウスバシロチョウ
123-04	松井正人	石川県のシジミチョウ
1997年		
124-01	富沢 章	国分五男氏の採集記録から
124-02	牧原悟郎	辰口町のウスバシロチョウ

号-頁	著 者	報文タイトル
124-03	矢田新平	白山釈迦林道でエルタテハを採集
124-04	井村正行	石川県のカワラハンミョウ絶滅か?
124-05	松井正人	石川県のシジミチョウ 2
125-01	野中 勝	イカリモンハンミョウの斑紋
125-01	松井正人	幻光に輝く雌のコムラサキ
125-01	松井正人	石川県最北のギフチョウ
125-03	牧原悟郎	金沢市倉ヶ岳のツマグロヒョウモン
125-03	松井正人	宝達山にいたウスバシロチョウ
125-04	矢田新平	釈迦林道(六万山)におけるカミキリムシ採集記録
125-04	勝海雅夫	1996年ゴマシジミ採集記 1. 白山編
125-06	松井正人	石川県のシジミチョウ 3
126-01	松井正人	石川県のシジミチョウ 4
126-05	井村正行・西原昇吾	オオルリハムシの記録
126-05	西原昇吾	シャープゲンゴロウモドキの分布はつながるか
126-06	勝海雅夫	1996年ゴマシジミ採集記 2. 中部編
127-01	井村正行・中西重雄・松井正人	石川県初記録となるクロマダラタマムシの採集記録と一知見
127-02	西原昇吾	日尾池探訪
127-03	松井正人	石川県のシジミチョウ 5
127-09	勝海雅夫	1996年ゴマシジミ採集記 3. 中国編
128-01	富沢 章	久しぶりのゼフィルス採集
128-01	竹谷宏二	今年はウラナミアカシジミ多産か?
128-02	左合 直	金沢市キゴ山でウラナミアカシジミを目撃、撮影
128-02	生田省悟	医王山中腹でウラナミアカシジミを確認
128-03	松井正人	金沢市国見山でウラナミアカシジミ多数を確認
128-04	編集部	金沢市周辺のウラナミアカシジミ分布図
128-04	吉村久貴	金沢市南千谷でウスイロコノマチョウを採集
128-05	井村正行	サビナガボソタマムシの追加記録と一知見
128-06	山本直樹	ホソクロマメゲンゴロウの能登半島からの記録
128-06	松井正人	輪島市宝立山でヨコヤマヒゲナガカミキリを採集
128-07	勝海雅夫	1996年ゴマシジミ採集記 4. 東濃編
128-07	諸道秀人	キハダの庭木はムシヤの表札
128-08	松井正人	今は昔、奥黒部オオゴマシジミの園
129-01	松井正人	能登地方のゼフィルス
129-03	富沢 章	輪島市三井の蛾類
129-04	松井正人	1997年に輪島市で見かけた蝶
129-06	井村正行	輪島市鉢伏山のカミキリムシ
129-08	松井正人	平地に産する能登のエゾゼミ

号-頁	著 者	報文タイトル
129-09	西原昇吾	能登半島採集日記
1998年		
130-01	松井正人	奥能登猿山へゼフィルスを求めて
130-02	久慈一英	富山県の山地性ウラナミアカシジミ
130-03	勝海雅夫	クロコムラサキの採幼について
130-40	松井正人	石川県のシジミチョウ 6
130-06	松井正人	犀川源流域でキバナセセリの巣を発見
130-07	井村正行	アオナガタマムシの追加記録と1ホスト
130-07	諸道秀人	大津市における南方系蝶類の消長について
130-08	西原昇吾	門前町でシャープゲンゴロウモドキを確認
131-01	松井正人	1997年アサギマダラ日記
131-03	松井正人・井村正行・西原昇吾	輪島市三井の甲虫類
131-04	松井正人	「石川県の蝶の記録」大集計
131-07	嵯峨井淳郎	昆虫関係ホームページにアクセスしよう
131-09	富沢 章	石川県ふれあい昆虫館、7月オープン
132-01	松井正人	加賀南部でアオマダラタマムシを確認
132-02	井村正行	石川県のツヤハダクワガタの追加記録
132-02	嵯峨井淳郎	アサギマダラの早い目撃例
132-03	松井正人	ウスバシロチョウの早い記録
132-03	松井正人	セミの記録を集めよう
132-05	富沢 章	宝立山の蛾類記録
132-06	嵯峨井淳郎	虫屋とモバイルコンピューティング
133-01	笹川忠志	金沢市倉ヶ岳ゼフィルス情報
133-02	高田兼太	金沢市キゴ山におけるウラナミアカシジミの採集例
133-02	嵯峨井淳郎	金沢市倉ヶ岳のツマグロヒョウモン追加記録
133-03	松井正人	石川県のハルゼミ
133-06	チョウキチホマレ	シリーズ案内&書評《藤岡近縁種図鑑》
134-01	嵯峨井淳郎	河内村板尾のスギタニルリシジミ
134-01	嵯峨井淳郎・井沢國雄	ミスジチョウの早い記録
134-02	松井正人	金沢市でネブトクワガタを採集
134-02	松井正人	アカスジキンカメムシを採集
134-03	久慈一英	見越山のゴマシジミは大変
134-04	松井正人	日尾池のギフチョウ
134-05	松井正人	石川県のエゾゼミ
135-01	吉村久貴	実在した菊水のクロシジミ標本
135-02	久慈一英	白山湯の谷のベニヒカゲ
135-03	富沢 章	医王山の蛾類記録
135-04	嵯峨井淳郎	石川県産蝶類の分布拡大と思われる事例
135-05	嵯峨井淳郎	ニホンカモシカの死骸に群がる蝶類

号-頁	著 者	報文タイトル
135-05	松井正人	能登地方でジョウザンミドリシジミを採集
1999年		
136-01	松井正人	1998年石川県のツマグロヒョウモン概要
136-07	笹川忠志	1998年金沢近郊で一時発生したツマグロヒョウモン顛末記
136-10	嵯峨井淳郎・牧原悟郎	倉ヶ岳のツマグロヒョウモン・その後
136-11	久慈一英	石川県にツマグロヒョウモンがいっぱい
136-13	矢田新平	小松市のツマグロヒョウモンパラダイス
136-15	日吉芳朗・日吉南賀子	輪島市気勝山のツマグロヒョウモン
136-17	松井正人	高洲山でツマグロヒョウモン発見できず
136-18	嵯峨井淳郎	ツマグロヒョウモンの蛹化植物について
136-18	嵯峨井淳郎	ツマグロヒョウモンの一吸蜜植物について
136-19	松井正人	石川県各地でツマグロヒョウモンの幼虫を調査
136-21	嵯峨井淳郎	ジョロウグモのネットにかかったツマグロヒョウモンの観察例
136-21	嵯峨井淳郎	青色のハーブに飛来したツマグロヒョウモン
136-22	嵯峨井淳郎	ツマグロヒョウモン流紋異常型オスを採集
136-23	奥 素八子	庭のランタナに飛来したツマグロヒョウモン
136-23	チョウキチホマレ	石川『ツマグロヒョウモン』騒動・総括記
136-25	編集部	1998年石川県のツマグロヒョウモン記録
137-01	富沢 章	石川県におけるムネアカセンチコガネの記録
137-02	松井正人	手取川水系尾添川のギフチョウ
137-03	松井正人	1998年アサギマダラ日記
137-07	嵯峨井淳郎	医王山におけるコキマダラセセリの追加記録
137-07	細沼 宏	1998年沖縄採集旅行記
138-01	松井正人	ヒメキマダラセセリの卵と幼虫を観察
138-02	松井正人	石川県加賀市でツマグロヒョウモン越冬か
138-04	吉村久貴	金沢城址におけるハンミョウ科2種の採集・目撃記録
138-05	日吉芳朗	石川県輪島市で採集された蝶のリストと未発表記録
138-07	富沢 章	珠洲市宝立山で得られた蛾類
139-01	松井正人	ウスイロコノマチョウの集まる場所

号-頁	著 者	報文タイトル
139-02	久慈一英	能登島で見かけた蝶
139-03	嵯峨井淳郎	金沢における越冬ツマグロヒョウモンの目撃・採集例
139-04	嵯峨井淳郎	石川県産ミヤマカラスアゲハ、カラスアゲハの第3化の確認例
139-04	松井正人	ハルゼミとヒグラシの声を同時に聞く
139-05	松井正人・富沢 章	晩秋の吉次山蛾類記録
139-07	松井正人	訪花性誘引器で採集したコメツクムシ
140-01	松井正人	輪島市でヨコヤマヒゲナガカミキリとアカアシクワガタを採集
140-02	富沢 章	小松市のナベブタムシ採集記録
140-02	松井正人	小松市と白峰村でエゾゼミを採集
140-03	嵯峨井淳郎	蛹の羽化殻をつけた蝶2題
140-03	松井正人	蛹殻を付けたヤマキマダラヒカゲ
140-03	生田省悟	蛹殻を付けたオオミドリシジミ
140-04	嵯峨井淳郎	春のツマグロヒョウモン調査時に採集した昆虫類
140-05	松井正人	エゾゼミの森
140-06	笹川忠志	1999年新穂高オオイチモンジ採集記
141-01	牧原悟郎	キベリタテハとツマグロヒョウモンの絡み合いを目撃
141-01	嵯峨井淳郎	自宅庭で発生したゴマダラチョウ
141-02	矢田新平	白山三方岩岳でイガブチヒゲハナカミキリを採集
141-02	松井正人	10月のアサギマダラ
141-03	日吉芳朗・日吉南賀子	輪島市高洲山周辺でのスギタニリシジミとオオムラサキ探索の顛末記
141-07	指田春喜	飛越のヤマギフ・ノート
2000年		
142-01	日吉芳朗	輪島市におけるアサギマダラの今昔
142-04	松井正人	1999年アサギマダラ日記
142-09	久慈一英	ニューヨーク市の蝶
142-12	富沢 章	マツムシとクツムシの記録
143-01	松井正人	1999年石川県のツマグロヒョウモン概要
143-05	嵯峨井淳郎	1999年石川産ツマグロヒョウモンの現状について
143-07	嵯峨井淳郎	ツマグロヒョウモンの多重交尾を観察
143-08	奥 素八子	我が家の庭のツマグロヒョウモン幼虫日記
143-11	日吉芳朗・日吉南賀子	1999年の輪島市でのツマグロヒョウモン
143-13	松井正人	ツマグロヒョウモンの海浜吸蜜植物
143-14	嵯峨井淳郎	小型化した晩秋のツマグロヒョウモン

号-頁	著 者	報文タイトル
143-15	編集部	1999年石川県のツマグロヒョウモン記録
144-01	矢田新平	小松市大杉谷でムラサキシジミを目撃
144-01	松井正人	初夏の三又発電所で観察した蝶の幼虫、卵など
144-02	松井正人	コナラからウラナミアカシジミの幼虫を発見
144-02	日吉芳朗・日吉南賀子	輪島市でのミヤマセセリとホソバセセリの記録
144-05	嵯峨井淳郎	石川県における越夏スジボソヤマキチョウについて
144-06	久慈一英	南アフリカの想い出
145-01	三上秀彦	押水町宝達山で採集したミドリシジミ類
145-02	松井正人	加賀市で観察したゼフィルス2種
145-02	井村正行	アカスジキンカメムシの能登鉢伏山における採集記録
145-03	勝海雅夫	スジボソヤマキチョウの若齢幼虫を観察
145-03	嵯峨井淳郎	金沢市内でウスイロコノマチョウを目撃
145-04	井村正行・野中 勝	白山における石川県初記録と思われるコウチュウ目2種の記録
145-04	野中 勝	石川県におけるミヤタケダルマガムシの記録
145-05	日吉芳朗・日吉南賀子	酔っぱらう(?)ルリタテハ
145-06	笹川忠志	1999年沖縄石垣西表採集記(その1)
145-10	編集部	石川県内の環境庁レッドデータリスト2000掲載種
146-01	松井正人	能登地方でシータテハの夏型を採集
146-01	松井正人	羽咋郡志雄町でオオムラサキの飛翔を観察
146-02	嵯峨井淳郎	ニホンカモシカの死骸に群がる蝶類(2)
146-02	嵯峨井淳郎	白峰村三ツ谷でクジャクチョウを採集
146-03	井村正行	石川県産マグソクワガタの追加記録と一知見
146-03	井村正行	ナカブサツチビロウドムシの追加記録
146-04	石畑正夫	ドイツとスイスアルプスに蝶を追って
146-05	笹川忠志	1999年沖縄石垣西表採集記(その2)
147-01	日吉芳朗	キベリタテハを輪島市鉢伏山で目撃
147-02	大脇 淳	ムラサキシジミの採集・目撃例
147-02	嵯峨井淳郎	鳥越村にてスギタニ型オオムラサキを採集
147-03	矢田新平	白峰村大杉谷林道の薪置き場におけるカミキリムシ
147-05	井村正行	白峰村でアイヌハンミョウを採集
147-06	松井正人	市町村別蝶類記録一覧表
147-11	笹川忠志	1999年沖縄石垣西表採集記(その3)

号-頁	著 者	報文タイトル
2001年		
148-01	日吉芳朗・日吉南賀子・日吉宏朗	2000年の輪島市におけるアサギマダラ マーキングと観察記録
148-04	松井正人	2000年アサギマダラ日記
148-09	編集部	石川県関係アサギマダラ再捕獲情報
148-10	五萌みどり	私のパパは左利き
149-01	松井正人	2000年石川県のツマグロヒョウモン概要
149-03	日吉芳朗	アサギマダラを求めて輪島市舳倉島をおとずれる
149-05	日吉芳朗・日吉南賀子	石川県輪島市での1999年の蝶採集記録から
149-09	矢田新平	ツマグロヒョウモンの寄生率と蛹期
149-09	嵯峨井淳郎	白峰村三ツ谷で白化したキベリタテハを採集
149-10	編集部	2000年石川県のツマグロヒョウモン記録
150-01	日吉宏朗・日吉芳朗・日吉南賀子	2000年に輪島市およびその周辺で採集したゼフィルス
150-02	松井正人	石川県産ムラサキシジミの飼育記録
150-03	三上秀彦	富山県福光町におけるヒサマツミドリシジミの記録
150-03	松井正人	宝達山周辺でウラクロシジミを採卵
150-04	大脇 淳	岐阜県白川村三方崩山のキマダラモドキとスジグロチャバネセリ
150-05	久慈一英	ロッキー山脈採集旅行2000 Part1
151-01	山口英夫・荒木克昌	マルコガタノゲンゴロウ石川県で記録(第1報)
151-02	富沢 章	オオセンチコガネの採集記録
151-03	日吉芳朗・日吉宏朗・日吉南賀子	石川県輪島市での2000年の蝶採集記録から
151-07	久慈一英	ロッキー山脈採集旅行2000 Part2
152-01	山口英夫・荒木克昌	マルコガタノゲンゴロウ石川県で記録(第2報)
152-02	大脇 淳	金沢市内でイッシキキモンカミキリを採集
152-03	嵯峨井淳郎	石川郡鶴来町にてジャコウアゲハ終令幼虫を採集
152-03	日吉芳朗	秋さなかの10月にジャコウアゲハを目撃する
152-04	三上秀彦	石川県尾口村でムラサキシジミを採集
152-04	大脇 淳	加賀市刈安山でオオムラサキを観察
152-04	富沢 章	南西諸島におけるチョウ2種の記録
152-05	久慈一英	ロッキー山脈採集旅行2000 Part3
153-01	松井正人	石川県の低地および能登丘陵周辺のゼフィルス

号-頁	著 者	報文タイトル
153-03	日吉宏朗・日吉南賀子・日吉芳朗	2001年の輪島市および鳳至郡門前町とその周辺におけるゼフィルス
153-05	井村正行	石川郡美川町でアカシジミを目撃
153-06	竹谷宏二	白峰村市ノ瀬でムモンアカシジミを目撃
153-06	奥 素八子	石川県小松市の雑木林で目撃したチョウ
153-06	嵯峨井淳郎	自宅の庭でウラナミアカシジミを観察
153-07	久慈一英	ニューヨークへ思いを寄せる
2002年		
154-01	日吉宏朗	オオムラサキを卵から飼育する
154-05	奥 素八子	我が家の庭のツマグロヒョウモンに天敵出現
154-07	松井正人	冬期間におけるツマグロヒョウモン飼育記録
154-08	井村正行	石川県産の記録の少ないピドニアの追加記録
155-01	日吉芳朗・日吉南賀子	舳倉島におけるアサギマダラ調査とこれまでの成果
155-04	日吉宏朗	ゴマダラチョウより大きなオオムラサキの越冬幼虫を観察
155-04	五萌夢美	巡りくる季節
155-05	松井正人	2001年アサギマダラ日記
156-01	奥 素八子	我が家の庭でツマグロヒョウモンの越冬幼虫を観察
156-01	三上秀彦	柳田村でスジボソヤマキチョウを目撃
156-02	久慈一英	石川県北部のギフチョウ発生地
156-02	牧原悟郎	松任市矢頃島にギフチョウ飛来
156-03	日吉芳朗・日吉南賀子	輪島市におけるヤマチャバネセリとオオチャバネセリの最近の動向
156-04	松井正人	アサギマダラを捜して新潟県柏崎市米山へ
156-05	日吉芳朗・日吉南賀子	2001年の石川県輪島市におけるアサギマダラのマーキング調査
156-07	井村正行・江崎功二郎	能登で未記録と思われる4種のカミキリムシの報告
156-08	井村正行・江崎功二郎	石川県初記録と思われる甲虫2種の記録
156-08	松井正人	金沢市曲子原で得た石川県初記録と思われる甲虫
157-01	松井正人	石川県金沢市でムラサキシジミの幼虫を観察
157-03	矢田新平	4月下旬～5月上旬に舳倉島で観察した蝶類
157-04	日吉芳朗・日吉南賀子・日吉宏朗	輪島市とその周辺に於けるオオヒカゲの記録と生態

号-頁	著 者	報文タイトル
157-05	松井正人	オオモンシロチョウ越冬蛹の羽化時期と寄生蠅の羽化時期
157-06	井村正行	クロホソコバネカミキリの追加記録と一知見
157-06	石畑正夫	カンボジアとマレーシアの蝶事情について
158-01	細沼 宏	医王山でヒサマツミドリシジミを採集
158-02	大脇 淳	石川県尾口村新岩間温泉周辺で採集目撃した蝶類
158-03	松井正人	石川県押水町の神社林でウスイロコノマチョウを目撃
158-03	井村正行	オオオビハナノミの追加記録
158-04	矢田新平	石川県におけるムモンアカシジミの新産地
158-04	日吉芳朗・日吉南賀子	石川県輪島市での2001年の蝶採集記録から
158-07	松井正人	ヒサマツミドリシジミ採卵の有力ポイント
159-01	日吉宏朗・日吉芳朗・日吉南賀子	奥能登の内浦町、柳田村、門前町での蝶の追加記録種
159-04	久慈一英	金沢市のキバナセセリ
159-05	松井正人	白峰村明谷川でキバナセセリを観察
159-05	松井正人	石川県に於けるキバナセセリの観察記録地
159-07	勝海雅夫	金沢市に於ける盛夏のスミナガシ採卵について
159-08	百万石蝶談会	2002年アサギマダラのマーキング活動と再捕獲記録
2003年		
160-01	日吉芳朗	輪島市でクロアゲハ無尾型を得たいきさつ
160-05	松井正人	ムラサキシジミ自然交配の試み
160-07	勝海雅夫	ウラゴマダラシジミの人工採卵について
160-08	富沢 章	能美郡辰口町でキチョウの異常発生を観察
160-09	松井正人	輪島市と柳田村でスジボソヤマキチョウを観察
160-10	大脇 淳	加賀市の蝶リストに5種を追加
161-01	吉村久貴	2002年ギフチョウの採集・確認・目撃記録
161-05	松井正人	秋の山里で多数のツマグロヒョウモンを観察
161-06	久慈一英	北陸三県のエルタテハ
161-07	日吉宏朗・日吉南賀子・日吉芳朗	2002年の珠洲郡内浦町および輪島市とその周辺におけるゼフィルス
162-01	日吉芳朗・日吉南賀子	輪島市のキタテハと黒化異常型の採集

号-頁	著 者	報文タイトル
162-02	小幡英典	生け垣のエノキに付いていたゴマダラチョウ
162-03	矢田新平	ツマグロヒョウモンの蛹期と環境からの影響
162-05	松井正人	輪島市舳倉島10月のチョウ
162-06	松井正人	金沢市に於けるカラスシジミの記録
162-06	吉村久貴	昆虫採集と自然保護
163-01	日吉芳朗・日吉南賀子・日吉宏朗	石川県輪島市での2002年の蝶採集記録から
163-02	勝海雅夫	富山県上市町馬場島にてムモンアカシジミを目撃
163-03	松井正人	ムラサキシジミを林道脇のコナラとミズナラから採幼
163-04	高田兼太	金沢市におけるクロマダボタルの採集記録2例
163-05	松井正人	2002年アサギマダラ日記
164-01	浅地哲也	特別寄稿《金沢市医王山でムモンアカシジミを採集》
164-01	大脇 淳	ナガジロサビカミキリの越冬成虫を採集
164-02	松井正人	石川県金沢市でシータテハの生息を確認
164-03	日吉芳朗・日吉南賀子・日吉宏朗	2002年の石川県輪島市におけるアサギマダラの調査
164-06	松井正人	石川県に於けるアサギマダラの食草利用状況
164-07	小幡英典	捕まえちゃった
164-08	高田兼太	金沢市角間におけるウラナミアカシジミの採集記録
164-08	高田兼太	金沢市角間におけるヤマトタムシの採集記録
165-01	浅地哲也	特別寄稿《石川県金沢市のトゲナナフシ》
165-02	吉長高嶺・松井正人	宝達山でヤスマツトビナナフシを採集
165-03	松井正人	北陸三県のナナフシ類と石川県のナナフシ類
165-06	松井正人	富山県上平村のエダナナフシ
165-07	松井正人	石川県金沢市で11月にトゲナナフシを採集
165-08	大脇 淳	2003年石川県小松市のホシチャバネセセリ
2004年		
166-01	松井正人	2003年石川県のアサギマダラマーキング概要
166-06	日吉芳朗	石川県宝立山の蝶リスト
166-07	日吉芳朗・日吉南賀子	輪島市と鳳至郡柳田村のスジボソヤマキチョウ

号-頁	著 者	報文タイトル
166-08	石畑正夫	石川県輪島市でスジボソヤマキチョウを採集
166-09	小幡英典	クロスジフユエダシヤクの交尾を観察
166-10	嵯峨井淳郎	蝶数種の遅い観察例
167-01	久慈一英	2003年の石川・富山・岐阜のギフチョウに関する成果と知見
167-03	日吉芳朗	石川県輪島市でウスイロコノマチョウを採集
167-03	日吉芳朗・日吉南賀子・日吉宏朗	石川県輪島市内の注目すべき観察地での採集・観察記録
167-06	石畑正夫	金沢市医王山のヒメキマダラヒカゲ
167-07	松井正人	アサギマダラの交尾斑
167-08	小幡英典	素敵な建物の危険な被写体
168-01	林 宏初・松井正人	石川県でスナビキソウから吸蜜するアサギマダラを観察
168-03	日吉芳朗・日吉南賀子	2003年の石川県輪島市におけるアサギマダラマーキング調査
168-05	松井正人	石川県で5月にツマグロヒョウモンの羽化直後の個体と蛹の抜殻を観察
168-06	日吉芳朗・日吉南賀子・日吉宏朗	石川県鳳至郡柳田村での蝶の追加記録種
168-06	蝶談会事務局	街で目立つ青い羽
168-07	富沢 章	石川県で相次いだクマゼミの記録
168-08	小幡英典	多勢に無勢
169-01	松井正人	ツルガシワからアサギマダラの卵と幼虫を観察
169-03	日吉芳朗・日吉南賀子	石川県輪島市および鳳至郡柳田村での2003年の蝶の記録から
169-04	浅地哲也	街にも進出、黄と黒の王者
169-05	大脇 淳	住宅地の孤立林でエゾミドリシジミとウラキンシジミを観察
169-06	浅地哲也	キイロサナエの記録とヤマサナエとの棲み分けについて
169-07	松井正人	エダナナフシとナナフシモドキを観察
169-08	小幡英典	たくさん産むのかもしれない
170-01	松井正人	石川県金沢市でアオタテハモドキ採集さる
170-02	日吉芳朗	舩倉島で初採集されたニイニイゼミ
170-02	生田省悟	キアゲハの異常産卵例
170-03	富沢 章	石川県小松市で大発生したルリボシカミキリ
170-04	富沢 章	石川県のクロスキバホウジャクの採集記録
170-05	松井正人	2003年アサギマダラ日記
171-01	浅地哲也	てっちゃんの「トンボは楽し」
171-03	松井正人	1. コオニヤンマ 金沢市鈴見台でトゲナナフシを観察

号-頁	著 者	報文タイトル
171-04	日吉芳朗	石川県輪島市におけるダイミョウセセリの後翅表面の白帯について
171-05	日吉芳朗	石川県輪島市周辺に於けるオオヒカゲの裏面色について
171-06	松井正人	石川県でカマキリ3種を観察
171-06	蝶談会事務局	七尾市・田鶴浜町・中島町・能登島町の合併に伴う住所表示の変更
171-08	蝶談会事務局	高松町・七塚町・宇ノ気町の合併に伴う住所表示の変更
2005年		
172-01	浅地哲也	石川県の大型タマムシ3種の記録
172-02	日吉芳朗・日吉南賀子	石川県輪島市での2004年の蝶の採集・観察記録から
172-05	松井正人	金沢市におけるカマキリ卵鞘観察記録
172-06	蝶談会事務局	松任市・美川町・鶴来町・河内村・吉野谷村・鳥越村・尾口村・白峰村の合併に伴う住所表示の変更
173-01	松井正人	アサギマダラの春の移動に関する新しい知見
173-09	蝶談会事務局	能都町・柳田村・内浦町の合併に伴う住所表示の変更
173-11	蝶談会事務局	根上町・寺井町・辰口町の合併に伴う住所表示の変更
174-01	松井正人	能登半島でシータテハの生息を確認
174-02	浅地哲也	石川県の大型セセリチョウ2種の記録
174-03	日吉芳朗・日吉南賀子	2004年の石川県輪島市におけるアサギマダラのマーキング調査
174-06	蝶談会事務局	鳥屋町・鹿島町・鹿西町の合併に伴う住所表示の変更
174-07	蝶談会事務局	志雄町・押水町の合併に伴う住所表示の変更
175-01	大脇 淳	医王山周辺でムラサキシジミを観察
175-02	竹谷宏二	ムラサキシジミー3度目の正直ー
175-03	松井正人	金沢市と宝達志水町でムラサキシジミを観察
175-05	浅野直樹・三坂岳応	医王山の稜線でムラサキシジミを観察
175-05	嵯峨井淳郎	医王山の南砺市側でムラサキシジミを採集
175-05	生田省悟	医王山でムラサキシジミを採集
175-06	奥 素八子	我が家の庭のツマグロヒョウモン2005
175-06	松井正人	白山市白峰明谷川でツマグロヒョウモンを観察
175-07	後藤義夫・日吉芳朗	2004年の石川県舩倉島におけるアサギマダラの観察
176-01	細沼 宏	富山県南砺市医王山でヒメシジミとカラスシジミを採集

号-頁	著 者	報文タイトル
176-01	松井正人	金沢市医王山でヨコヤマヒゲナガカミキリを採集
176-02	松井正人	金沢市医王山蛇尾山でコエゾゼミを採集
176-03	松井正人	医王山の北方稜線はアサギマダラのマーキング適地
176-05	大脇 淳	ムモンアカシジミを金沢市国見犀鶴林道で採集
176-06	蝶談会事務局 志賀町・富来町の合併に伴う住所表示の変更	
177-01	大脇 淳	アベマキからムラサキシジミ終令幼虫を記録
177-02	日吉芳朗	石川県輪島市中段町で3年連続ウスイロコノマチョウを採集
177-03	松井正人	石川県に於けるトゲナナフシの分布調査
177-07	蝶談会事務局 加賀市・山中町の合併に伴う住所表示の変更	
2006年		
178-01	日吉芳朗	石川県輪島市での2005年の蝶の採集・観察記録から
178-03	松井正人	石川県で発生したムラサキツバメ
178-10	大脇 淳	再び住宅地の孤立林でウラキシジミを観察
179-01	松井正人	石川県に於けるアサギマダラの北上調査2005
179-07	日吉芳朗・日吉南賀子	2005年の石川県輪島市におけるアサギマダラのマーキング調査
180-01	日吉芳朗	石川県旧輪島市におけるキマダラセセリ
180-02	日吉宏朗	石川県珠洲市でシータテハを採集
180-02	松井正人	アサギマダラの涙は肩板から
180-03	松井正人	2004年アサギマダラ日記
180-06	蝶談会事務局 輪島市・鳳珠郡門前町の合併に伴う住所表示の変更	
181-01	大脇 淳	金沢市犀川上流でヒメキマダラセセリを観察
181-02	松井正人	能登半島産から特異なクロアゲハが羽化
181-03	松井正人	アサギマダラのヘアーペンシルと匂い付け行動
181-04	大脇 淳	近年減少傾向にあると言われる蝶8種の石川県での現状について
181-07	松井正人	石川県のトゲナナフシについての追加産地と追加知見
182-01	大脇 淳	白山市大日スキー場周辺でヒメキマダラセセリを採集・目撃
182-01	松井正人	ヒメキマダラセセリを金沢市犀川ダムで観察

号-頁	著 者	報文タイトル
182-02	松井正人	2006年石川県金沢市におけるスジアカクマゼミの現状
182-05	松井正人	2005年アサギマダラ日記
183-01	浅地哲也	金沢市街地に於けるコシボソヤンマの記録
183-02	松井正人	石川県で5月にムラサキツバメの孵化殻多数を発見
183-03	井村正行	中西氏との思い出のヒゲナガホラヒラタゴミムシの採集記
183-05	野中 勝	スーパー虫屋だった中西重雄氏
183-08	澤田 博	大雪の日 ―中西 重雄さんをしのんで―
183-10	指田春喜	採るのが上手かった中西さん
183-11	松井正人	中西重雄さん、長い間ありがとうございました
2007年		
184-01	後藤義夫・野村 明・日吉芳朗	2006年、輪島市触倉島で新たに蝶3種を目撃する
184-05	松井正人	2006年石川県のムラサキツバメ
184-10	松井正人	石川県加賀市に於けるトゲナナフシの新たな観察地
185-01	日吉芳朗・日吉南賀子	2006年の石川県輪島市におけるアサギマダラのマーキング調査
185-05	松井正人	スナビキソウの燃えがらをなめるアサギマダラ
185-07	浅野直樹	金沢市でオオムラサキの幼虫を採集
185-07	大脇 淳	金沢市角間町周辺での1999年以降のオオムラサキの記録
185-08	松井正人	石川県能登地方に於けるオオムラサキの近況
186-01	大脇 淳	アサマイチモンジをタニウツギから採卵し成虫まで飼育
186-03	日吉芳朗	輪島市で再びキタテハの黒化異常型を採集
186-04	松井正人	石川県に於けるアサギマダラの北上移動調査2006
187-01	大脇 淳・竹谷宏二	近年減少傾向にあると言われる8種のチョウの追加記録
187-03	松井正人・日吉芳朗	能登町宇出津沖で燈火に飛来した蛾
187-03	浅地哲也	ハルゼミの羽化殻の記録
187-04	日吉芳朗	石川県旧輪島市での2006年の蝶の採集・観察記録から
187-07	松井正人	2006年アサギマダラ日記
188-01	大脇 淳・長太伸章	コムラサキのルーツ解明計画
188-03	松井正人	金沢市医王山蛇尾山におけるエゾゼミ類の抜殻調査
188-04	浅地哲也	金沢市北部周辺のハッチョウトンボ

号-頁	著 者	報文タイトル
188-04	松井正人	石川県加賀市でヒメカマキリを観察
188-05	松井正人	気温低下にともなうゲナナフシの移動
189-01	大脇 淳	オオチャバネセセリとミヤマチャバネセセリの能登地方での記録
189-01	松井正人	街中で観察されるツマグロヒョウモン
189-02	大脇 淳	金沢市の低標高地でオナガシジミを目撃
189-03	浅地哲也	石川県金沢市でクマゼミの鳴き声を聞く
189-03	松井正人	石川県金沢市で鳴いていたクマゼミ
189-04	浅地哲也	石川県鳳珠郡穴水町からオジロサナエを初確認
189-05	松井正人	石川県のエゾゼミの分布状況
2008年		
190-01	日吉芳朗	石川県輪島市での2007年の蝶の採集・観察記録から
190-04	松井正人	2007年石川県のムラサキツバメ調査
190-05	松井正人	スジアカクマゼミの一斉羽化
190-07	江口元章	石川県で確認されたハウチワウンカ
190-08	松井正人	石川県産トゲナナフシ成虫の体長
191-01	松井正人	能登に生育するカンアオイの仲間とギフチョウ生息の可能性
191-03	松井正人	石川県のオオミスジを探そう
191-06	松井正人・日吉芳朗	能登半島沖180kmのアサギマダラ
191-07	大脇 淳	根際で見つかった緑色のオオムラサキの幼虫
191-07	浅地哲也	金沢市医王山のトビナナフシ二種の記録
191-08	松井正人	石川県金沢市小坂町でトゲナナフシを観察
192-01	松井正人	石川県に於けるアサギマダラの北上移動調査2007
192-08	赤石大輔	特別寄稿《石川県珠洲市で8月にアサギマダラを観察》
192-08	細沼 宏	金沢市犀川ダムでクジャクチョウを採集
193-01	松井泰子・青山仁	富山市呉羽町で7月にツマグロヒョウモンの幼虫と蛹を観察
193-02	松井正人	金沢市と白山市でスジボツヤマキチョウを観察
193-03	浅地哲也	富山県南砺市奥医王山「龍神池」のトンボの記録
193-03	松井正人	石川県志賀町でジャコウアゲハの産卵を観察
193-04	江口元章	マダラコガシラミズムの石川県での記録
193-05	松井正人	モンキアゲハの石川県進入はいつ頃か
193-06	松井正人	エゾゼミとコエゾゼミの抜殻の違い

号-頁	著 者	報文タイトル
193-07	松井正人	新種記載されたシラキトビナナフシ
193-08	松井正人	シラキトビナナフシ卵の越冬法と孵化率
194-01	浅地哲也	石川県志賀町でウラナミアカシジミを採集
194-01	松井正人	石川県宝達山でオオチャバネセセリを観察
194-02	松井正人	石川県宝達山でケブリタテハを目撃
194-03	松井正人	石川県のヒサマツミドリシジミ調査
194-05	松井正人	2007年アサギマダラ日記
195-01	細沼 宏	金沢市医王山でシータテハを採集
195-01	矢田新平	石川県舩倉島10月の蝶
195-02	勝海雅夫	エゾミドリシジミの人工採卵に関する1所見
195-03	松井正人	エゾゼミ類の抜殻調査2008
195-05	松井正人	2004年石川県のアサギマダラマーキング概要
195-08	松井正人	石川県珠洲市でニホントビナナフシを観察
2009年		
196-01	松井正人	2005年石川県のアサギマダラマーキング概要
196-05	指田春喜	Sashida Collectionは全部で何頭あるのか？～日吉さんはスゴイ！～
196-07	松井正人	石川県白山麓で10月に観察したチョウ
196-08	松井正人	石川県白山市でエダナナフシを観察
197-01	日吉芳朗・日吉南賀子	石川県輪島市から中国浙江省へ移動したアサギマダラ
197-02	松井正人	白山市山毛櫓尾山でギフチョウ探し
197-03	中村明男・松井正人	石川県で6月にアサギマダラの交尾を観察
197-03	松井正人	石川県白山市でヒメシジミを採集
197-04	松井正人	2006年石川県のアサギマダラマーキング概要
198-01	松井泰子・青山 仁・青山 民	富山市呉羽町でツマグロヒョウモンの越冬幼虫を観察
198-02	松井正人	石川県に於けるアサギマダラの北上移動調査2008
198-10	日吉芳朗・日吉南賀子	2008年の石川県輪島市におけるアサギマダラのマーキング調査と観察記録
199-01	松井正人	石川県金沢市でツマグロヒョウモンの越冬幼虫を観察
199-02	澤田 博	石川県金沢市でムラサキツバメを採集
199-02	浅野直樹	石川県金沢市金川でホシミスジを採集
199-03	長田 真	石川県金沢市山川でホシミスジを採集
199-03	指田春喜	2007年蝶類採集(観察)報告
199-08	松井正人	羽咋郡志賀町荒屋で観察したヒメカンアオイ

会員の動き・しゃばの動き

■昆虫館でアルバイト

楽しい虫いじりができ、飼育好きには願ったり叶ったりの場所と思いきや、虫の世話はさせてもらえず、来館する子供の世話ばかり。うんざり顔の細沼氏だったが、きれいなお母さんには、思わずニンマリ。

■100均ピンセットのスペシャル加工

浅地氏、腰が強くて、先端もなまくらな100均のピンセットを、プロも泣いて喜ぶSP仕様に加工している。試作品もできあがり、これからはモニターの意見を聞きながら更なる使い心地を目指す。

■昆虫撮影用の愛機が故障

松井氏愛用パワーショットは、モニター画面が自由に動き、どんな角度からも画面が見られる優れものだが、自慢のモニター画面が突然映らなくなった。直しに出すと無償修理の対象らしく、只で直してもらった。高温多湿の環境では、CCDの配線が外れ、画面が映らなくなるらしい。

■白山のお花畑でチョウの調査

高山帯昆虫調査に思わず飛びついた松井氏だったが、毎日降り続く雨に、つらい山行を覚悟していた。ところが、調査の2日間は快晴で、日陰のない「馬のたてがみ」での5時間調査は苦行そのものだったとか。指先まで日焼けしていた。

■秘密兵器に出番がない

アカエゾゼミを探している松井氏、鳴声で判別できる音声解析を早くから準備していたが、8月に入っても雨ばかりで、エゾゼミ類の鳴き声が聞こえてこない。

■宝達山でウラキンシジミ

南北に長い石川県、金沢市以南では普通に観察されているウラキンだが、金沢市より北となると、輪島の1箇所では観察されているに過ぎない。そんなウラキンを、宝達山でアサギのマーキングをしていた三重昆虫の中西元男氏が観察していた。

■ヤドカリのようにゴミをしょって

ゴミの塊が動いていた。よく見れば、ゴミの中からクワガタの大顎のような牙が出ている。小さくてよく見えないので、写真に撮って拡大すると、アリジゴクの仲間のようで、ゴミでカモフラージュし、近づく獲物を捕らえるらしい。

■庭が野菜の標本箱

いつの間にそろえたのか、地植えや鉢植え等、広い庭に所狭しと野菜が植えられている。1種数株ずつが小さな区画に植えられ、50種は優に越えている。凝り性の会長、かつては野生蘭に使っていた見事な鉢にも、タマネギが植えられていた。

■鶴来でムラサキツバメ

6月に1羽が観察されたムラサキツバメ、各地で幼虫調査がなされていたが、8月に入ってようやく白山郷運動公園で松田氏が5幼を観察した。

■宝達山にアサギが来ない

宝達山のアサギマーキングは年々盛んになり、平休日を問わず名手が待機するようになった。その成果もあって昨年は、多い日には800頭、9月中には3600頭にマーキングができた。今年は更に協力的な布陣で臨

んだが、多い日でも60頭、9月の総数はたったの350頭と昨年の1割にも満たない。

■奥能登のオオチャバネセセリ

オオチャバネは日本各地で減少傾向にあり、県内の記録も減って奥能登では90年代から記録されていないと大脇レポート(2008)は報じた。これを境に各地で記録され出したが、それも口能登まで。奥能登がどうなっているのか心配だ。

■ 例 会 の 記 録 ■

8月6日(木) 浅地メッキ2階にて、午後8時から開催。

今回は、長田氏が自作した実体顕微鏡の必須アイテム2品の紹介。

第1は、被写体を熱くしたり乾燥したりせずに観察できる冷光装置。第2は、写真撮影装置で、これらを、易く簡単に自作した。冷光には発光ダイオードを使い、写真撮影装置には、接眼部分に光軸を合わせてデジタルカメラを乗せる台を発砲スチロールを加工して作った。

その他の話題は、その後のムラサキツバメは、金沢産ホシミスジの顔、本州産のネキダリスがそろった、針葉樹食のカミキリ採集地、10mの竿に80cmの網、などなど。

参加は、松井、浅地、長田、井村、大宮の5人。

■ ■ 表紙デザイン：小幡英典 ■ ■

目 次

生田省悟：野田山辺りをウロチョロと	1
細沼 宏：『翔』200号によせて	1
松井正人：翔200号に思う	2
大脇 淳：鮮烈な印象を残して消えたキゴ山ポイント	3
吉村久貴：また蝶を撮りはじめました	5
指田春喜：白山のライチョウとタカネヒカゲ	7
日吉芳朗：石川県輪島市とその周辺での2008年の蝶の採集・観察記録から	9
松井正人：石川県宝達山で採集されたアサギマダラの左右雌雄型	12
井村正行：大嵐山での採集記録報告	13
浅地哲也：ハルゼミの発生初期に於ける羽化殻の記録	14
松井正人：我が家の庭で観察したチョウ	14
編 集 部：「翔」総目次(1号～199号)	15
編 集 部：会員の動き・しゃばの動き	35

翔 200号

Tobu 2009年10月10日発行
百万石蝶談会
金沢市大場町東871-15 松井方

<http://homepage3.nifty.com/100man/>

☎920-3121 ☎076-258-2727
郵便振替 00750-8-562
印刷 小西紙店印刷所

